



# 第20回

## B&G全国教育長会議

# 地域の子どもは地域で育てる！

— 子どもが主役の部活動改革 —

### スケジュール

1. 主催者挨拶
2. 来賓挨拶・紹介
3. 副会長選任・正副会長挨拶

### 4. シンポジウム

子どもが主役の部活動改革を考える

～ 新しいブカツのかたち ～

5. B&G 財団事業説明
6. 提言
7. 総括

2023.11.8(水)

13:00～

会場：ベルサール汐留



代田 昭久 氏  
（一社）未来地図 代表理事  
長野県飯田市 前教育長



橋田 裕 氏  
スポーツ庁地域スポーツ課長



星野 明宏 氏  
（株）オフィスホシノ 代表取締役  
静岡県聖光学院 前学校長



稲垣 和希 氏  
筑波大学体育スポーツ局 研究員



佐藤 嘉晃 氏  
静岡県掛川市 教育長



浅井 伸行 氏  
兵庫県南あわじ市 教育長

# Agenda

## 1. 部活動の地域移行における現状調査結果報告・・・1

## 2. シンポジウム

『子どもが主役の部活動改革を考える  
～新しいブカツのかたち～』

- ・ 静岡県掛川市の事例・・・24
- ・ 兵庫県南あわじ市の事例・・・35
- ・ 星野 明宏 氏・・・44
- ・ 稲垣 和希 氏・・・48
- ・ 代田 昭久 氏・・・59

## 3. B&G財団事業説明・・・65

第20回B&G全国教育長会議 出席者名簿

2023年10月31日現在


ブロック	道府県	自治体名	役職	氏名	ブロック	道府県	自治体名	役職	氏名
北海道	北海道	東川町	教育長	杉山 昌次	関東	群馬県	明和町	教育長	金子 博
	北海道	和寒町	教育長	吉澤 昭一		群馬県	玉村町	教育長	内田 博之
	北海道	秩父別町	教育長	早川 龍		群馬県	板倉町	教育長	赤坂 文弘
	北海道	大樹町	教育長	沼田 拓己		群馬県	みなかみ町	教育長	田村義和
	北海道	下川町	教育長	川島 政吉		埼玉県	神川町	教育長	福嶋 康治
	北海道	美幌町	教育長	矢萩 浩		埼玉県	幸手市	教育長	山西 実
	北海道	東神楽町	教育長	金谷 昭		埼玉県	松伏町	教育長	岡田 直人
	北海道	石狩市	教育長	佐々木 隆哉		埼玉県	久喜市	教育長	神沼 光夫
	北海道	大空町	教育長	関谷 正樹		埼玉県	嵐山町	教育長	下村 治
	北海道	厚岸町	教育長	滝川 敦善		埼玉県	白岡市	教育長	横松 伸二
	北海道	上富良野町	教育長	鈴木 真弓		埼玉県	吉見町	教育長	大澤 幸正
	北海道	砂川市	教育長	高橋 豊		茨城県	かすみがうら市	教育長	井坂 庄衛
	北海道	滝川市	教育長	田中 嘉樹		茨城県	常陸太田市	教育長	滝 睦美
	北海道	剣淵町	教育長	金村 良則		茨城県	行方市	教育長	横田 英一
	北海道	小平町	教育長	金澤 弘幸		茨城県	石岡市	教育長	岩田 利美
	北海道	積丹町	教育長	原 光宏		茨城県	笠間市	教育長	小沼 公道
	北海道	釧路町	教育長	藤下 正彦		茨城県	八千代町	教育長	関 篤
	北海道	長万部町	教育長	近藤 英隆		茨城県	北茨城市	教育長	豊田 健司
	北海道	愛別町	教育長	馬場 信明		茨城県	小美玉市	教育長	羽鳥 文雄
	北海道	名寄市	教育長	岸 小夜子		茨城県	五霞町	教育長	森田恵美子
東北	青森県	中泊町	教育長	鈴木 信也	千葉県	成田市	教育長	関川 義雄	
	青森県	東北町	教育長	沼尾 一秋	千葉県	いすみ市	教育長	赤羽 良明	
	青森県	平内町	教育長	渡辺 伸一	栃木県	下野市	教育長	石崎 雅也	
	青森県	五所川原市	教育長	原 真紀	栃木県	さくら市	教育長	橋本 啓二	
	青森県	鶴田町	教育長	山本 真規子	栃木県	芳賀町	教育長	古塚 秀一	
	岩手県	山田町	教育長	松葉 寛	栃木県	那須烏山市	教育長	田代 和義	
	岩手県	花巻市	教育長	佐藤 勝	新潟県	佐渡市	教育長	香遠 正浩	
	岩手県	岩泉町	教育長	巖岩 千裕	新潟県	胎内市	教育長	中澤 毅	
	岩手県	大船渡市	教育長	小松 伸也	新潟県	上越市	教育長	早川 義裕	
	岩手県	九戸村	教育次長	松浦 拓志	新潟県	燕市	教育長	小林 靖直	
	岩手県	八幡平市	教育長	星 俊也	新潟県	糸魚川市	教育長	藤本 修一	
	秋田県	大湯村	教育次長	宮田 雅人	新潟県	南魚沼市	教育長	岡村 秀康	
	秋田県	三種町	教育長	藤田 良博	石川県	志賀町	教育長	岡崎 正剛	
	秋田県	由利本荘市	教育長	秋山 正毅	石川県	七尾市	教育長	八崎 和美	
	秋田県	湯上市	教育長	工藤 素子	石川県	穴水町	教育長	大間 順子	
	山形県	舟形町	教育長	伊藤 幸一	富山県	上市町	教育長	牧田 康博	
	宮城県	栗原市	教育長	千葉 睦子	富山県	南砺市	教育長	松本 謙一	
	宮城県	加美町	教育長	鎌田 稔	富山県	高岡市	教育次長	杉森 芳昭	
	宮城県	蔵王町	教育長	文谷 政義	富山県	砺波市	課長	三井 康司	
	宮城県	大郷町	教育長	島海 義弘	富山県	氷見市	教育長	鎌仲 徹也	
	宮城県	大崎市	教育長	熊野 充利	福井県	越前町	教育長	出口 俊一	
	宮城県	川崎町	教育長	相原 稔彦	福井県	大野市	教育長	久保 俊岳	
	福島県	石川町	教育長	小玉 陽彦	福井県	勝山市	教育長	油谷 泉	
	福島県	小野町	教育長	有賀 仁一	福井県	あわら市	教育長	甲斐 和浩	
	福島県	塙町	教育長	秦 公男	福井県	美浜町	教育長	加藤 浩	
	福島県	田村市	教育長	飯村 新市	福井県	坂井市	教育長	林 晃司	
	福島県	本宮市	教育長	松井 義孝	福井県	若狭町	教育長	松宮 毅	
	福島県	柳津町	教育長	神田 順一	福井県	池田町	教育長	内藤 徳博	

第20回B & G全国教育長会議 出席者名簿

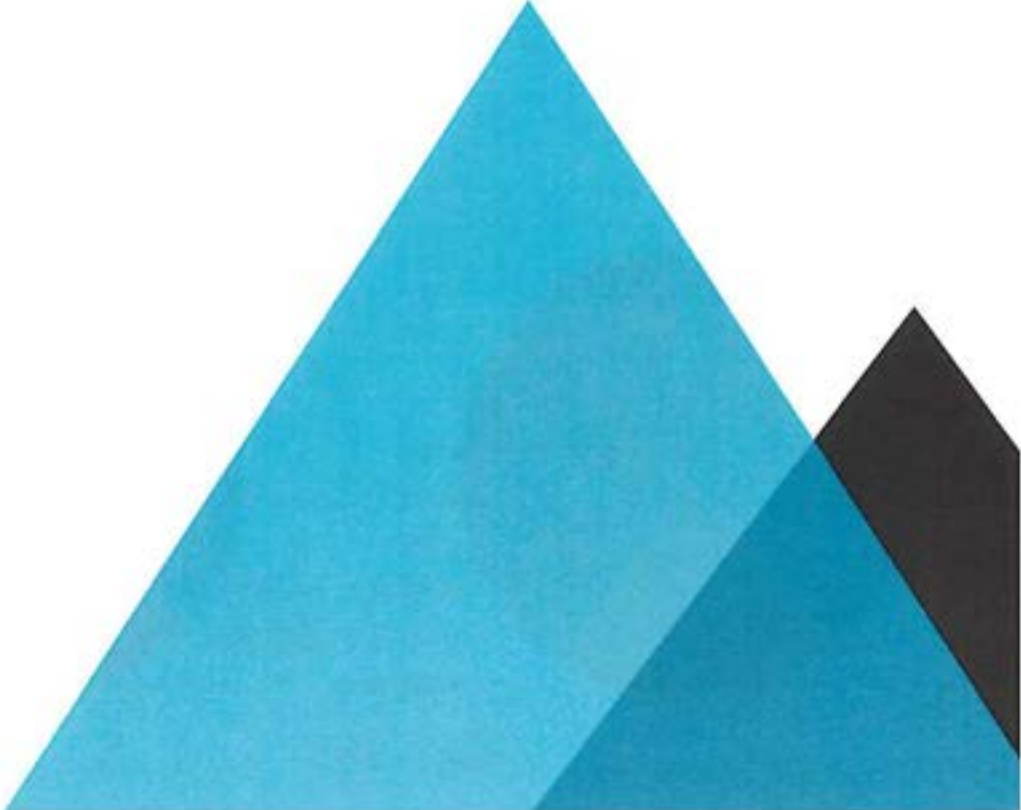
2023年10月31日現在

ブロック	道府県	自治体名	役職	氏名	ブロック	道府県	自治体名	役職	氏名
中部	山梨県	北杜市	教育長	奥水 清司	中国	岡山県	備前市	教育長	松畑 照一
	山梨県	山梨市	教育長	嶋崎 修		岡山県	鏡野町	教育長	武本 吉正
	山梨県	中央市	教育長	石田 秀博		岡山県	浅口市	教育長	中野 留美
	山梨県	甲斐市	教育長	高鳥 悟		岡山県	和気町	教育長	徳永 昭伸
	山梨県	南アルプス市	教育長	嶋山 希世彦		岡山県	奈義町	教育長	和田 潤司
	山梨県	甲州市	教育長	小林 俊彦		岡山県	矢掛町	教育長	山部 英之
	静岡県	河津町	教育長	鈴木 弘光		岡山県	瀬戸内市	教育長	東南 信行
	静岡県	御前崎市	教育長	吉村 紳治郎		岡山県	新見市	教育長	正村 政剛
	静岡県	沼津市	教育長	奥村 篤		岡山県	赤磐市	教育長	坪井 秀樹
	静岡県	掛川市	教育長	佐藤 嘉晃		広島県	東広島市	教育長	市場 一也
	静岡県	川根本町	教育長	山下 斉		広島県	安芸高田市	教育長	永井 初男
	長野県	生坂村	教育長	上條 貴春		広島県	北広島町	教育長	池田 庄策
	長野県	富士見町	教育長	矢島 俊樹		山口県	周防大島町	教育長	星野 朋啓
	長野県	中野市	教育長	柴本 豊		山口県	萩市	教育長	池田 廣司
	長野県	上松町	教育長	越原 一郎		山口県	岩国市	教育長	守山 敏晴
	長野県	長和町	教育長	藤田 仁史		四国	徳島県	東みよし町	教育長
	長野県	大町市	教育長	中村 一郎	徳島県		徳島市	教育長	松本 賢治
	長野県	白馬村	教育長	横川 秀明	徳島県		阿南市	教育長	坂本 和裕
	長野県	飯島町	教育長	片桐 健	香川県		綾川町	教育長	松井 輝善
	長野県	下條村	教育長	吉村 善郎	香川県		さぬき市	教育長	和田 浩二
	長野県	阿南町	教育長	藤又 司	香川県		小豆島町	教育長	坂東 民哉
	岐阜県	富加町	教育長	坂井 伸生	香川県		高松市	教育長	小柳 和代
	岐阜県	中津川市	教育長	岩久 義和	香川県		三豊市	教育長	大原 一仁
	岐阜県	可見市	教育長	藤部 好彦	高知県		四万十町	教育長	山崎 光章
	岐阜県	八百津町	教育長	社本 勝義	高知県		津野町	教育長	久寿 久美子
	岐阜県	川辺町	教育長	白村 茂	高知県		東洋町	教育長	蛭子 浩久
	岐阜県	恵那市	教育長	岡田 庄二	愛媛県		愛南町	教育長	児島 秀之
	愛知県	新城市	教育長	安形 博	愛媛県		今治市	教育長	小澤 和樹
	愛知県	東栄町	教育長	佐々木尚也	愛媛県		久万高原町	教育長	小野 敏信
	愛知県	清須市	教育長	天竺 幸治	愛媛県		鬼北町	教育長	行定 洋嗣
	三重県	伊勢市	教育長	岡 俊晴	北九州		大分県	国東市	教育長
	三重県	熊野市	教育長	倉本 勝也		大分県	竹田市	教育長	志賀 晋哉
三重県	伊賀市	教育長	谷口 修一	大分県		由布市	教育長	橋本 洋一	
大阪府	能勢町	教育長	加堂 恵二	福岡県		川崎町	教育長	森 秀二	
京都府	南丹市	教育長	國府 常芳	福岡県		福智町	教育長	朝部 英晴	
京都府	宮津市	教育長	山本 雅弘	福岡県		大任町	教育長	桑野 敏朗	
兵庫県	香美町	教育長	前田 毅	福岡県		築上町	教育長	久保 ひろみ	
兵庫県	豊岡市	教育長	嶋 公治	福岡県		みやま市	教育部長	藤吉 裕治	
兵庫県	上郡町	教育長	鈴木 茂行	福岡県		みやこ町	教育長	梶口 広二	
兵庫県	丹波市	教育長	片山 剛昭	福岡県		柳川市	教育長	橋本 秀博	
兵庫県	淡路市	教育長	山本 哲也	佐賀県		みやき町	教育長	一木 健也	
兵庫県	芦屋市	室長	田嶋 修	長崎県		五島市	教育長	村上 富憲	
兵庫県	南あわじ市	教育長	浅井 伸行	長崎県		南島原市	教育長	松本 弘明	
兵庫県	新温泉町	教育長	西村 松代	長崎県		平戸市	教育長	松永 靖	
兵庫県	養父市	教育長	米田 規子	熊本県		玉名市	教育長	福島 和義	
兵庫県	丹波篠山市	教育長	丹後 政俊	熊本県		美里町	教育長	宮崎 幸仁	
滋賀県	高島市	教育長	川島 浩之	熊本県	菊池市	教育長	官光寺 以章		
滋賀県	米原市	教育長	馬渡 均	熊本県	長洲町	教育長	戸越政幸		
滋賀県	近江八幡市	教育長	大喜多 悦子	熊本県	南阿蘇村	教育長	今村 了介		
滋賀県	野洲市	教育長	西村 健	熊本県	宇城市	教育長	平岡 和徳		
滋賀県	甲賀市	教育長	立岡 秀寿	宮崎県	日南市	教育部長	田中 さかり		
和歌山県	新宮市	教育長	速水 盛康	宮崎県	宮崎市	教育長	西田 幸一郎		
和歌山県	串本町	教育長	坂本 善光	鹿児島県	鹿屋市	教育次長	川越 太		
中国	鳥取県	鳥取市	教育長	尾室 高志	鹿児島県	いちき串木野市	教育長	相良 一洋	
	鳥取県	浜田市	教育長	岡田 泰宏	鹿児島県	天城町	教育長	院田 裕一	
	鳥取県	雲南市	教育長	景山 明	鹿児島県	南大隅町	課長	松山 隆広	
	鳥取県	西ノ島町	教育長	澤 純子	鹿児島県	南さつま市	教育長	北園 博之	
	鳥取県	美郷町	教育長	阿川 俊治	鹿児島県	奄美市	教育長	村田 達治	
	鳥取県	江津市	教育長	田中 利徳	沖縄県	名護市	教育長	岸本 敏孝	
					沖縄県	うるま市	教育長	嘉手苺 弘美	

教育長本人出席 206名  
代理出席 9名  
合計 215名



**1. 「部活動の地域移行における  
現状調査」結果報告**



# 事前調査結果のご報告

2023年8月、本会議の開催に先立ち、子ども達のスポーツ環境のあり方等を検討することを目的に、B&G所在自治体における「部活動の地域移行に関する現状調査」を実施致しました。調査結果については、本会議内でご報告するとともに、関連団体であるスポーツシンクタンク「公益財団法人笹川スポーツ財団」と共有させていただきました。回答にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



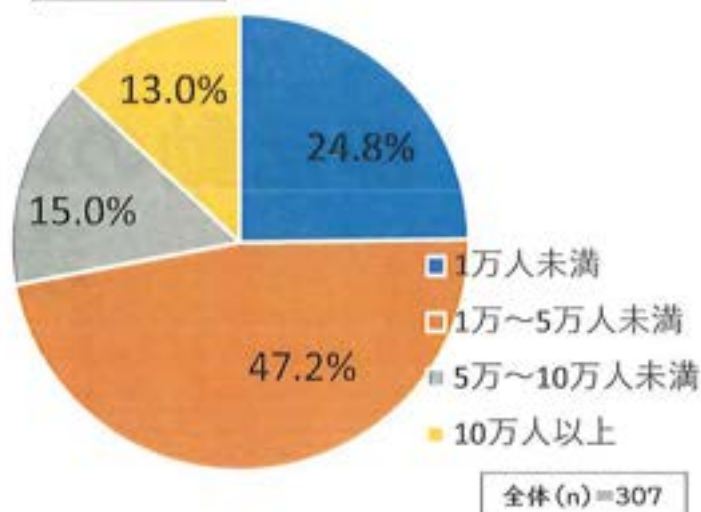
## No.1 調査にご協力くださった自治体の基本情報

### 回答自治体

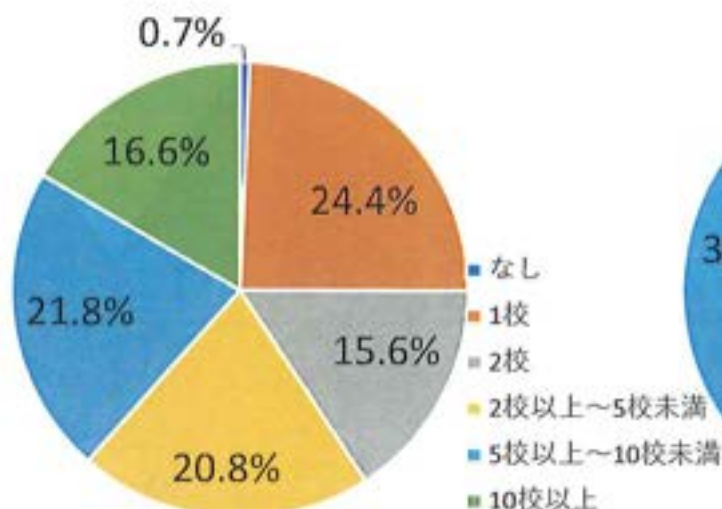
# 307自治体

(市:171自治体,町:127自治体,村:9自治体)

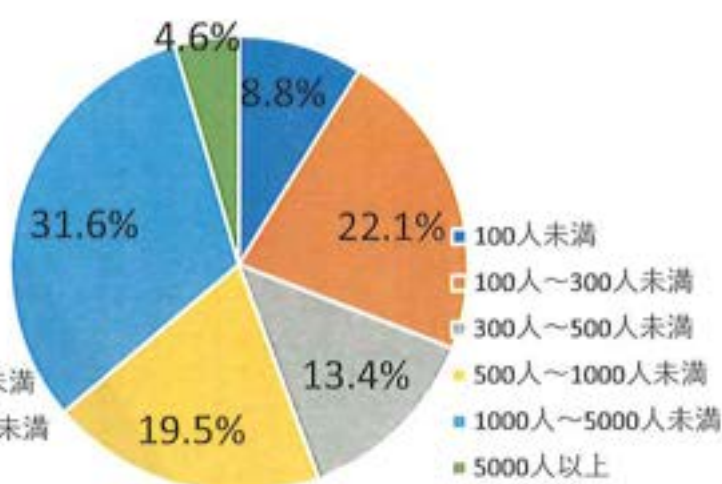
### 人口区分



### 公立中学校の数(校)



### 公立中学校の総生徒数(人)



**No.2** 貴自治体における「運動部活動の地域移行」関連の担当部署

既存部署に担当者を配置

**96.6%**

部署を新設 **3.4%**

地域移行課 (岡山県備前市)  
放課後活動課等 (静岡県磐田市)

n=236

**No.3** 運動・スポーツに関する推進計画の策定

策定している **74.8%**

策定していない **20.3%**

策定予定 **5.0%**

n=301

**No.4** 部活動の地域移行に関する推進計画の策定

策定している **40.7%**

策定中 **31.1%**

策定していない **28.2%**

n=305

**No.5** 属する道府県からの部活動の地域移行に関する説明会等の開催

あった **89.2%**

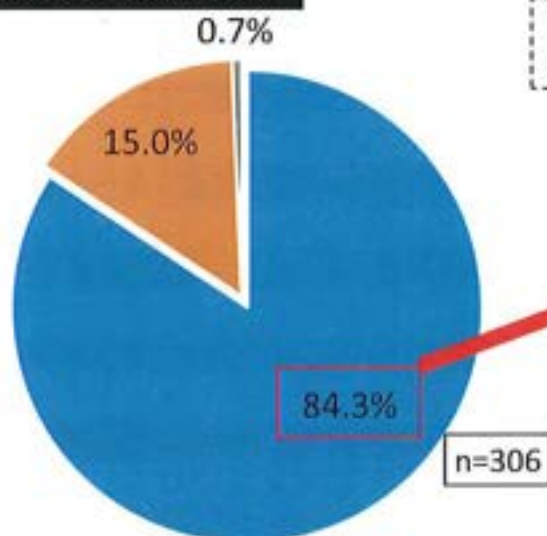
なかった **4.6%**

不明 **6.2%**

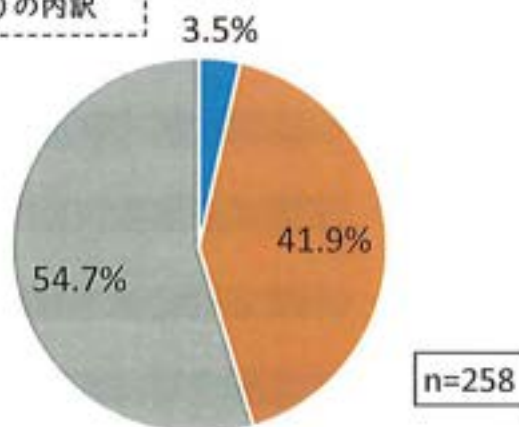
n=305

**No.6** 貴自治体における「休日の運動部活動の地域移行」の取り組み状況をお聞かせください。

地域移行の取り組み状況



「検討中・今後検討」と回答した 84.3% (258自治体) の内訳



■これから実施する ■現在検討中 ■これから検討

■検討中・今後検討 ■実施中 ■実施しない

■実施中(15%)のうち、「すべての公立中学校で実施中」と回答した自治体をご紹介します»

- ・上市町・常陸太田市・胎内市・三木町・和気町
- ・勝山市・上松町・天城町・南丹市・燕市・雲南市
- ・あわら市・南あわじ市・穴水町・玉村町・川辺町
- ・高岡市・小豆島町・恵那市・菰野町・北茨城市
- ・大紀町・徳島市・与論町 (計24自治体)

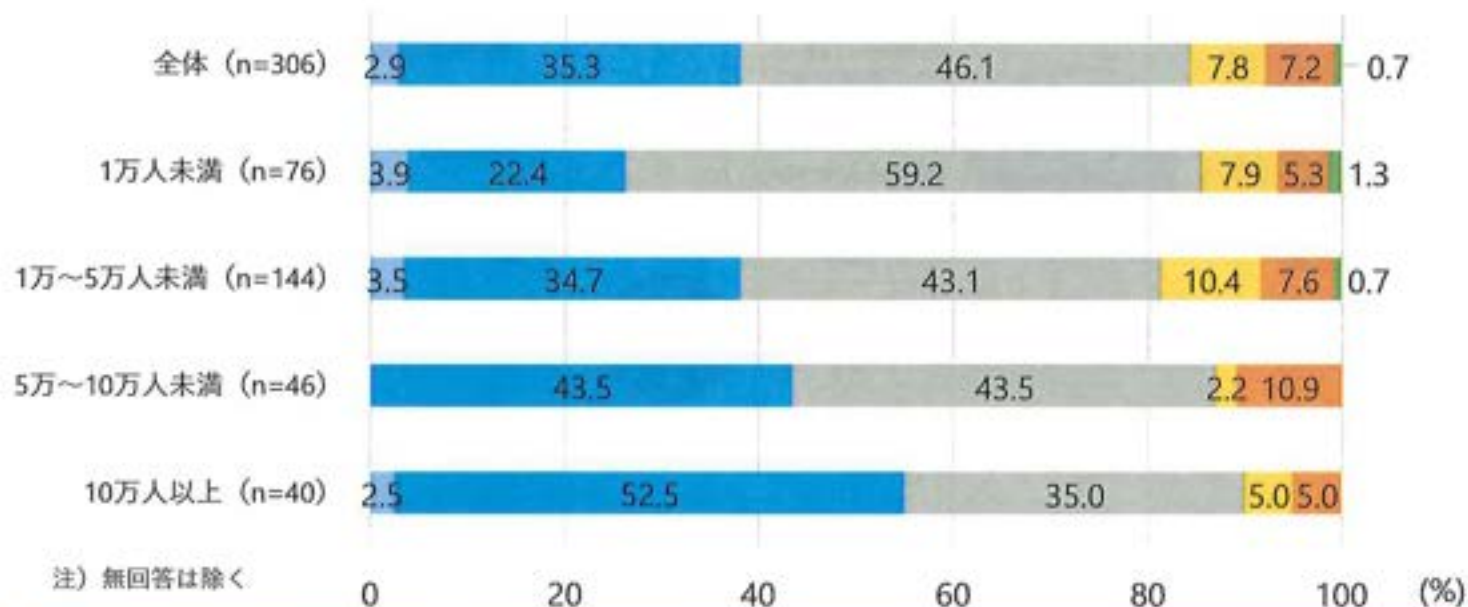


●傾向と分析●

84.3%が「検討中・今後検討」であり、その中でも「これから検討」が54.7%を占めている。ほとんどの自治体が、検討の段階にあると考えられる

### 取り組み状況 × 人口区分

■これから実施する ■現在検討中 ■これから検討 ■すべてで実施 ■一部で実施 ■実施予定なし

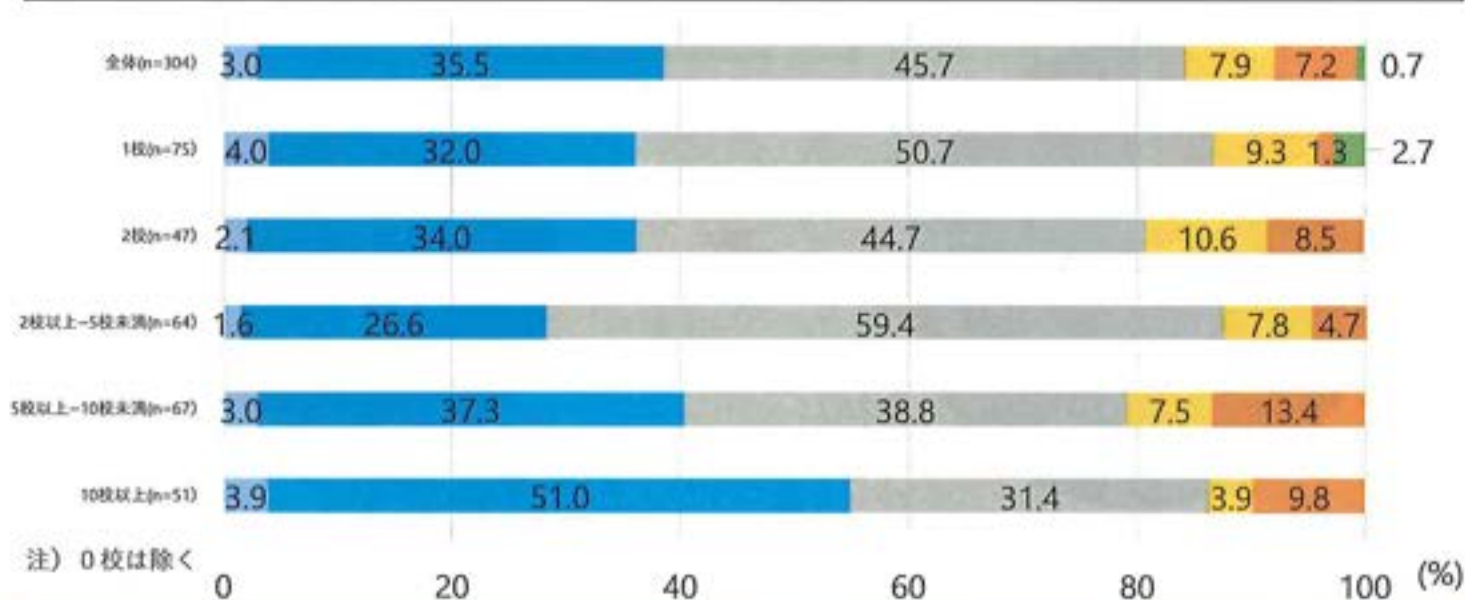


#### ●傾向と分析●

人口が多い自治体ほど「現在検討中」と回答する割合が高く、人口が少ないほど「これから検討」の割合が高い。人口が多い自治体の方が地域移行の検討に早めに着手している可能性がある。

### 取り組み状況 × 公立中学校(数)

■これから実施する ■現在検討中 ■これから検討 ■すべてで実施 ■一部で実施 ■実施予定なし



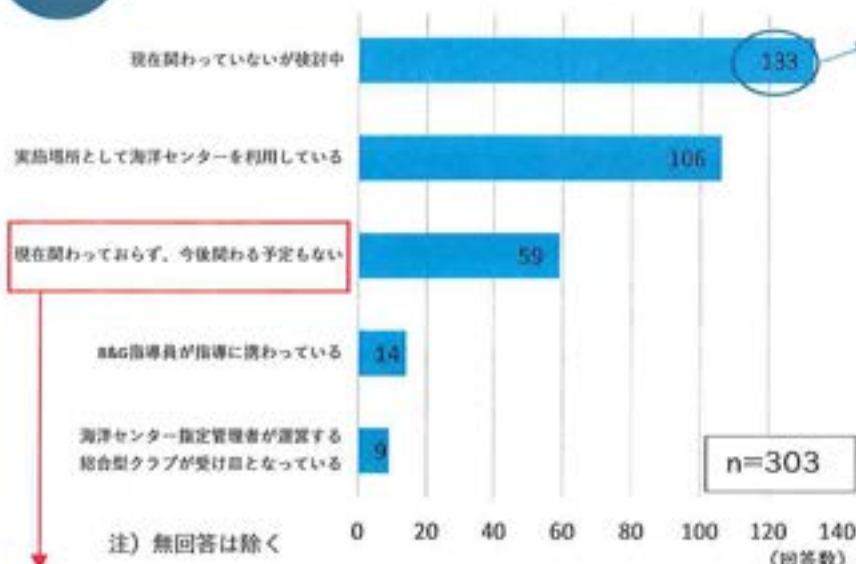
#### ●傾向と分析●

「10校以上」の中学校がある自治体は「現在検討中」の割合が比較的高く、既に検討が始まっている可能性が高い。一方、その他と比較して「すべてで実施」の割合が低い。中学校の数が5校未満の「これから検討」の割合が比較的高く、今後検討を始める段階にある可能性が高い。



注) No.7以降は、No.6で「検討中・今後検討」「実施中」と回答した方にお伺いしております。

## No.7 運動部活動の地域移行に際し、貴自治体B&G海洋センターの関わりをお聞かせください。(複数回答可)



No.7-1に続く

### 「その他」の回答

- ・現時点で具体的な関わりについての議論がなされていない
- ・総合型地域スポーツクラブとして水泳部がプールを使用
- ・外部指導者として中体連大会に関わっている指導者もいる
- ・施設の老朽化による使用不可

### ●傾向と分析●

既に学校共用として一部のB&G海洋センターが使用されていることがわかる。一方、施設の分類によって対応できる部活動が限られている現状。

### その理由について

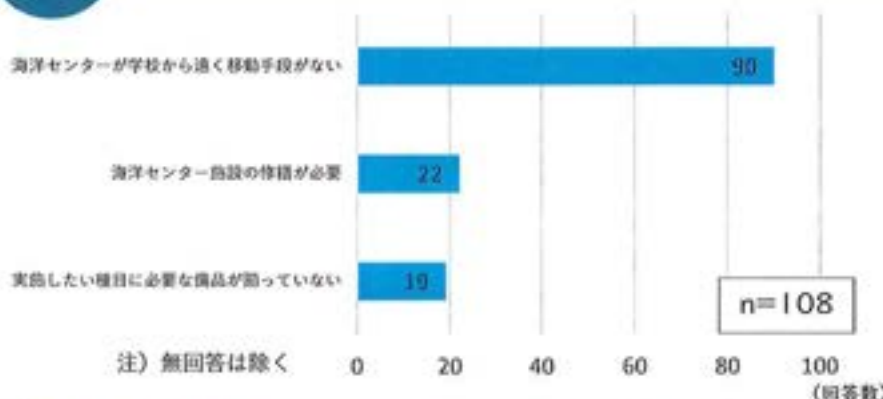
- ・市内中学校に「水泳部」が無いため(※プールのみの施設)
- ・学校から海洋センターまでの距離が遠いため
- ・学校施設で活動可能であるため。
- ・施設の老朽化で使用不可なため

このようなご意見もありました >>>

当市では「できるところからできる範囲で」として地域移行よりも地域連携を重視した取り組みを行っています。そのため、中学生の受け皿となる地域クラブの活動場所として、B&G海洋センターを含めた市内スポーツセンターの確保・利用負担軽減などの取り組みを行っています。(兵庫県南あわじ市)



## No.7-1 上記NO.7において「現在関わっていないが検討中」と回答された方(133自治体)は、海洋センター施設の活用に向けて課題となっていること等があればお聞かせください。(複数回答可)



### 「その他」の回答

- ・一般利用者や他団体との利用スケジュールの調整
- ・指導者の確保
- ・空調設備
- ・水泳部がない
- ・連携体制の整備
- ・課題の洗い出しができていない

### ●傾向と分析●

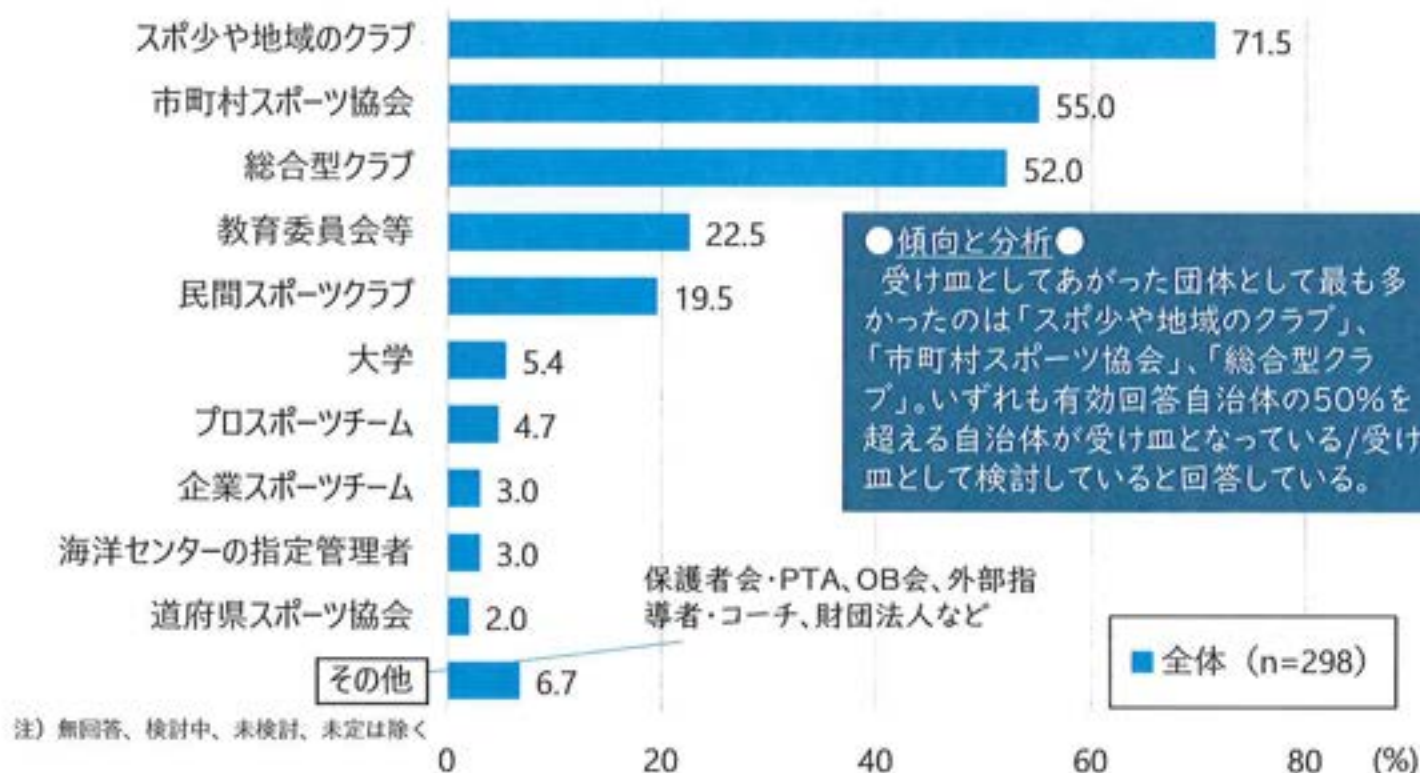
No.7で「現在関わっておらず、今後も関わる予定がない」と回答した理由と、NO.7-1の回答(海洋センター施設の活用に向けての課題)は、共通する意見が多く、特に、①学校から海洋センターまでの距離が遠い。②学校施設で活動可能である。が挙げられた。

いずれにしても、部活動の地域移行・地域連携について、『これから検討するところ』や『まだ具体的な協議になっていない』との回答が多く、多くの自治体が、検討の段階にあると考えられる。

## No.8

「運動部活動の地域移行」において、受け皿となっている、または受け皿として検討している運営団体を選んでください。(複数選択可)

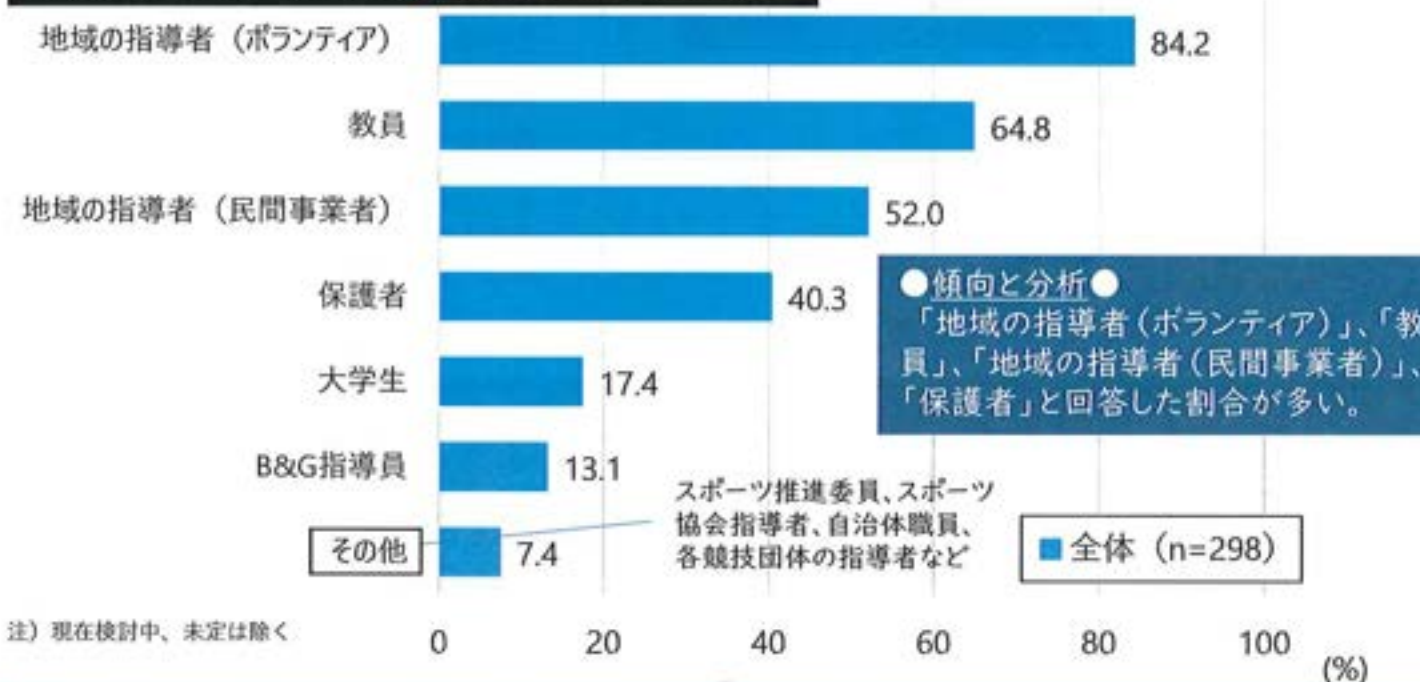
## 地域移行の受け皿(予定含む)の団体



## No.9

「運動部活動の地域移行」において、指導者として活動している、または想定している方を選んでください。(複数選択可)

## 地域移行において指導者として活動(予定を含む)している人



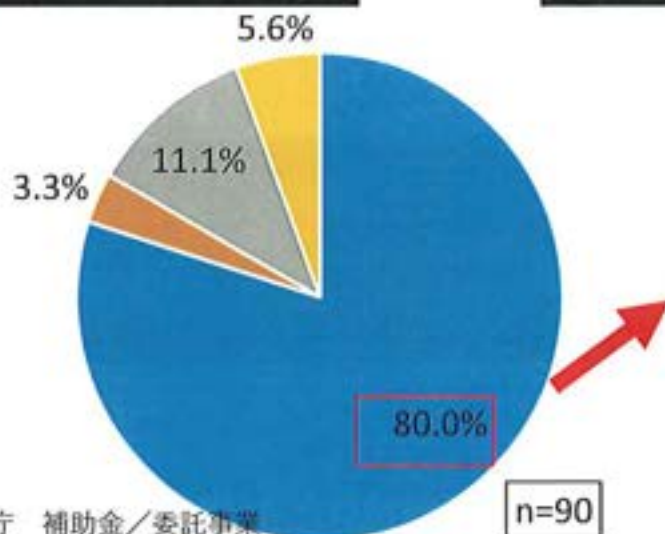
No.10 指導者の確保について、利用している(する予定の)制度・サービスはありますか。(複数回答可)

指導者確保に向けて利用している(する予定)の制度・サービス

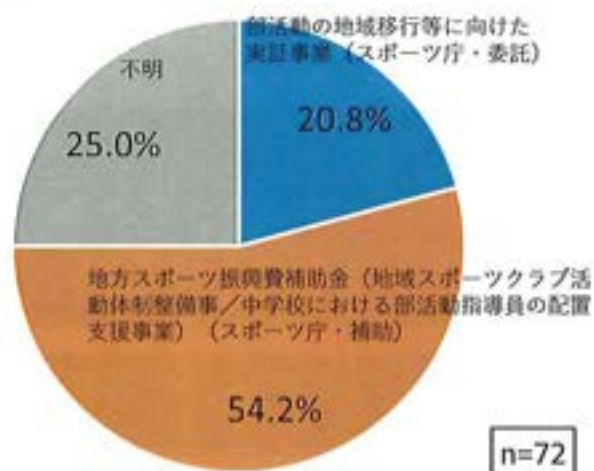


No.11 「運動部活動の地域移行」を推進するにあたり、活用予定の国等の交付金や補助金制度等があればご記入ください。(複数回答可)

活用予定の国の交付金・補助金等

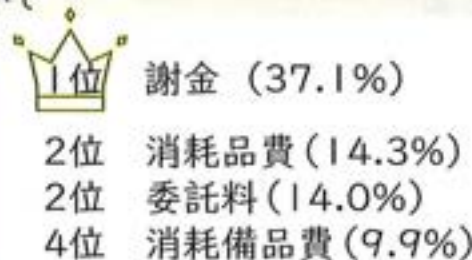


スポーツ庁 補助金/委託事業 (80%) の内訳



- スポーツ庁 補助金/委託事業
- 文化庁活動の地域連携や地域文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備 (文化庁)
- 都道府県による交付金/補助金等
- その他

No.12 交付金等を活用する場合、使用予定の費目について



●傾向と分析●  
 選択肢中の回答で最も多かったのは「謝金」であり、その他と回答した方のうち、多かったのは「旅費」「人件費」「保険料」であった。以上のことから、部活動の地域移行にあたり、必要となってくるとされる費用は指導者やコーディネーター等に係る費用であることがわかる。

No.13

「運動部活動の地域移行」において、最も課題だと感じることを1つ選択し、その具体的な内容をご記載ください。

### 「地域移行」において最も課題と感じること



No.14

No.13の回答の「次」に課題であると感じることについては、

- ① 指導者の確保
- ② 財源の確保
- ③ 運営団体の確保

の順に回答数が多かった。

### ●傾向と分析●

- ・「指導者の確保」、「運営団体(受け皿)の確保」、「財源の確保」の3つが、『最も課題に感じること・その次に課題だと感じること』のいずれにおいても多くの割合を占めている。
- ・有効回答自治体のうち97%がNo.13、No.14のいずれかで上記3つのいずれかの課題を選択している(上記3つをいずれも選択していないのは3%のみ)。

### 上位3つの課題についてその具体的な内容(抜粋)

#### 指導者

指導者の数が減少していることから確保が難しい。また高齢化から比較的年齢が若い指導者の確保がより難しい。

学校の事情もよく理解した指導者という観点で人材を探していくと、ほとんど該当者がいない。

平日の指導者確保が特に難しい。

部活動数と同じ指導者数を確保するのは極めて困難である。

指導者等の人材不足が考えられる。

基本的に平日は仕事をしている方が多いため、平日に面倒を見ていただける指導者が少ない。

指導員と仕事の両立ができる方がいない。

#### 受け皿

休日に運営を委託できる団体が無い。

ニーズに合った受け皿の把握が難しい。

必ずしも競技団体=指導団体ではなく、また、地域移行に当たっては、持続可能で安定的な団体でなければならないため。

総合型地域スポーツクラブが多忙であること。

実施時間や内容、指導者数など、受け皿となる団体の理解をどのように求めるか。

#### 財源

地域部活動を運営するにあたり、総括コーディネーターや指導者の謝金等の財源確保

①拠点となる学校までの生徒の移動距離が長くなり、支援が必要であると考えている。②運営を依頼するに当たり、必要な経費を全て市の一般財源で賄うことが難しい。

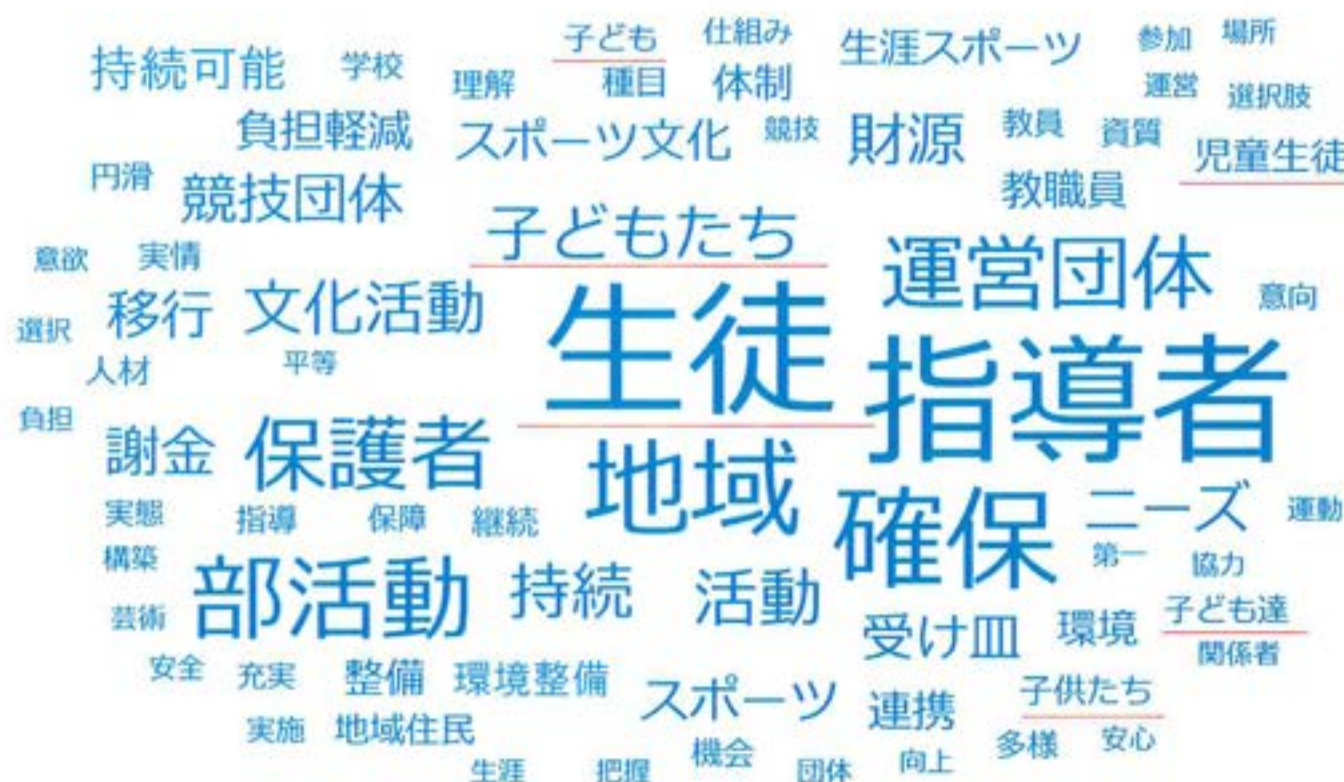
地域指導員の報酬等の財源を確保できない限り進まない。逆に言うと財源(平日までを含む)が確保できれば進んでいく。

今年度は国の事業を活用して実証事業に取り組む予定だが、受益者負担となると保護者負担が増えるので、負担軽減も必要となり、財源の確保(支援)が必要だと感じる。

生徒の移動手段を確保する場合の費用や指導者への報酬

「運動部活動の地域移行」をする上で、重要視していること、最も大切だとお考えのことをご記入ください。(自由記述)

皆様の回答中の単語の出現頻度を可視化しました。出現頻度が高い単語ほど大きく表示されています。



～～以下、有効回答を表にまとめて掲載しておりますので、近隣市町村や気になる自治体等があれば、本会議のコーヒーブレイクの時間等を活用してぜひ情報交換をしていただけると幸いです。(道府県順)～～

道府県	市町村名	地域移行で重要視していること
北海道	長万部町	スポーツで進路を決める場合、学校との連携がとても重要と考える
北海道	室蘭市	部活動(種目)の消滅を防ぎ、生徒個人がやりたい部活動を選べること
北海道	東川町	中高生自身の活動したい種目が身近な地域にあること
北海道	苫前町	指導者の確保、保護者の理解
北海道	和寒町	生徒及び保護者の理解
北海道	秩父別町	地域人材に依存するだけではなく、地域の特性を加味した「地域モデル」を確立すること。
北海道	大樹町	部活動だけでなく、住民が生涯にわたってスポーツを行える環境づくり
北海道	下川町	地域移行を原因として、部活動が続けられなくなる生徒が出ないこと。
北海道	美幌町	子供たちの活動のしやすさ
北海道	石狩市	部活動のあり方をどこに位置づけるのか
北海道	斜里町	地域の皆さんや保護者の理解と協力。
北海道	古平町	子どもの活動機会を奪わないこと
北海道	大空町	生徒の豊かなスポーツ活動を実現するために活動環境を持続可能なものにする。
北海道	厚岸町	生徒がやりたい種目をやれる体制づくり人とカネの確保
北海道	上富良野町	生徒、保護者のニーズを大切に、学校と連携しながら地域の潜在力をどう導いていくか
北海道	砂川市	指導者の確保
北海道	枝幸町	運営団体(受け皿)の確保、受け皿の確保が容易でないため

道府県	市町村名	地域移行で重要視していること
北海道	新篠津村	学校及び地域のニーズを把握
北海道	滝川市	継続してスポーツを行う場を子ども達に提供すること
北海道	剣淵町	子どもたちが安心して活動できる環境の整備
北海道	岩見沢市	生徒・保護者・教職員・関係団体など、関係者の理解と意識の醸成
北海道	積丹町	地域移行後も安全に活動できる環境づくりが重要と考えられる
北海道	芦別市	中学生のみならず、一般市民を対象としたスポーツの機会を地域全体で確保する仕組みづくりが必要である
北海道	鷹栖町	子どもたちの持続可能なスポーツ環境の整備
青森県	中泊町	指導者の充実
青森県	南部町	生徒はやりたい部活動を充実させること 教員は残業時間を減らすこと
青森県	弘前市	生徒たちの活動の場を確保すること。
青森県	東北町	運営団体の確保
青森県	平内町	町部局の理解と協力。
青森県	弘前市	生徒たちの活動の場を確保すること
青森県	鶴田町	地域内(生徒、保護者、教職員、部活動指導者、競技団体、自治体等)の合意形成を図ること。
青森県	五所川原市	誰でも活動できる環境づくりをしていくことが大切なことだと考えている。
岩手県	山田町	部活動の指導者体制の充実
岩手県	花巻市	生徒のニーズに応じた活動の場の設定
岩手県	岩泉町	活動場所への移手段の確保
岩手県	奥州市	運営団体及び指導者の確保による安定的な活動
岩手県	一関市	地域での持続可能な子どもの活動の場の保障
岩手県	陸前高田市	地域移行に伴う指導者の確保及び保護者への負担増が懸念される
岩手県	大船渡市	生徒が望む競技を継続して行える体制整備
岩手県	九戸村	保護者の理解
岩手県	洋野町	学校・部員のニーズ把握と指導者とのマッチング。実施場所の選定・確保。
岩手県	八幡平市	学校と地域との連携による生徒の豊かなスポーツ、文化芸術活動の実現
山形県	酒田市	生徒たちが持続的に活動できる環境の整備
宮城県	栗原市	部活動をどう位置付け、体制を整えるか。また、「子どもたちにとってどうか」という視点で、どう地域移行していくかが、大切だと考える。
宮城県	加美町	教育委員会としての基本方針
宮城県	蔵王町	生徒を第一に考え、部活動として取り組んでいた時期と同様に運動機会を提供する。
宮城県	大郷町	学校教育の一部である部活動を地域するにあたり、一部の部活を地域し、一部は教員が教えるといった平等性に欠けることはできない。したがって地域移行を実施するのであれば、すべての部活動を地域移行しなければならないと考えている。
宮城県	登米市	生徒が活動しやすい環境をつくること
宮城県	川崎町	運動できる施設の確保や指導者の確保
宮城県	大崎市	学校・地域、保護者、子ども達の理解と連携
秋田県	大仙市	関わる全ての人達の理解
秋田県	にかほ市	これまで策定している運動部活動等の方針を踏まえて地域移行を行なうことが重要
秋田県	男鹿市	切れ目のない地域スポーツ、生涯スポーツへの参加につなげていくこと。
秋田県	由利本荘市	協議会等が発足していない為、具体的にはわからないのが現状
秋田県	湯沢市	①生徒が現在所属している部活動が継続できること、②生徒が大会、コンクール等に参加できることの2つを第一に考えている
秋田県	湯上市	児童生徒目線の政策
秋田県	八郎潟町	指導者の確保
秋田県	横手市	財源の確保、指導者の確保

道府県	市町村名	地域移行で重要視していること
福島県	小野町	指導者の確保であり、中学校との連携を図れる運営団体であること。
福島県	塙町	運営団体(受け皿)と指導者の確保、財源の確保を国や都道府県で率先して行うこと。
福島県	田村市	生徒の活動の機会の確保
福島県	本宮市	運営団体(指導者)、保護者、学校、地域との共通理解やルール作り
福島県	柳津町	地域の人たちの理解(学校との連携の在り方を含めた)
茨城県	かすみがうら市	生徒が主体的に運動や文化的活動に取り組むことができる環境づくり
茨城県	常陸太田市	運営していく上での人材の確保、人材の資格
茨城県	行方市	子どもたちの運動機会を失わないようにすること
茨城県	石岡市	持続可能な活動であること
茨城県	笠間市	すべての中学校で、スポーツ活動が自由にできる環境の整備
茨城県	八千代町	指導者の確保
茨城県	北茨城市	生徒が安心して参加できる環境づくり
茨城県	小美玉市	地域クラブ活動に携わる方々の理解と協力
栃木県	下野市	平日・休日で指導員が変わるので、指導方法を統一すること。
栃木県	さくら市	生涯に渡り活動可能な運動と出会う部活動体制づくり。活動費などの金銭面が理由により選択できない子どもがいないように。
栃木県	芳賀町	地域の子どもたちは、地域で守り育てていくという環境づくり。
栃木県	那須烏山市	子どもたちの思いや願いを反映したものになっているか
群馬県	玉村町	学校と地域が協力して、生徒のニーズに応じた地域移行を進めていくこと
群馬県	板倉町	学校との連携と保護者対応
埼玉県	神川町	生徒たちが主体的に取り組める活動が確保されること。
埼玉県	幸手市	生徒が充実した指導を受けることができるための運営団体や指導者の確保
埼玉県	松伏町	以後持続可能で本町の子どもたちのスポーツ文化振興のために無理のないシステムや運営を考えること(構築すること)
埼玉県	久喜市	子どもたちの活動機会を確保すること
埼玉県	嵐山町	生徒が何の運動部活動を求めているかを把握すること。
埼玉県	白岡市	無理のない持続可能な地域クラブ活動の実施
埼玉県	吉見町	中学生が今までの部活動の状況と同様もしくは、より良い活動になることが大切だと考えている。
埼玉県	鶴ヶ島市	継続性の確保ができる仕組みを構築すること
千葉県	長南町	土・日曜いずれか3時間の活動を行うための課題が多すぎる。
千葉県	横芝光町	子供たちの体力増進、技術向上
千葉県	成田市	学校の枠に収められない活動環境の整備と教員の負担軽減
千葉県	大多喜町	教員の負担軽減及び、少子化に伴う児童生徒の運動や文化活動の場の確保
千葉県	いすみ市	指導者への謝金や活動場所の使用料、生徒の移送手段への費用が予想される
千葉県	香取市	移行したことによる中学生・保護者の負担の増加がないようにすること
新潟県	佐渡市	生徒の意向を把握し、ニーズにあった活動の場を提供する
新潟県	胎内市	地域移行して良いことを保護者や地域住民に理解してもらうこと
新潟県	上越市	学校における部活動改革・地域における子供たちのスポーツ・文化活動の環境整備
新潟県	新潟市	協会や連盟の方を通じて受け入れ先となる場所を探し、生徒や保護者に多くの選択肢を与え、自分が「やりたい」と思える活動に参加できる環境を整えること。
新潟県	燕市	よりよい地域社会をつくること
新潟県	糸魚川市	子どもたちが望んでいる活動を障害なく自由に選択できる体制づくり
新潟県	南魚沼市	生徒の活動の機会を確実に保障すること

道府県	市町村名	地域移行で重要視していること
富山県	上市町	子供活動選択
富山県	南砺市	持続可能な体制の構築
富山県	高岡市	部活動の円滑な地域移行に向けた、学校と競技団体との連携
富山県	砺波市	学校、保護者、競技団体、指導者など関係者への理解
富山県	氷見市	各競技団体の意見、方向性の統一
石川県	七尾市	休日部活動の地域移行に伴う学校と受け皿となるスポーツ団体等との連携。
石川県	穴水町	生徒の意欲の向上及び安全面の配慮
福井県	越前町	生徒・保護者の多様なニーズへの対応、学校(教員)の負担軽減
福井県	大野市	子どものことを第一に考え、保護者を含む全ての関係者の理解
福井県	勝山市	指導者の確保など、国の支援が強化されないと地域移行を進めることが困難
福井県	あわら市	部活動の受け皿となる運営団体への十分な補助金の配分・指導者への謝金の補助
福井県	美浜町	運営側(受け皿)と参加側(保護者・生徒)の理解
福井県	福井市	生徒にとって望ましい活動環境の整備
福井県	若狭町	持続可能性
福井県	池田町	真に子供のためになっているか。大人の都合になっていないか。
山梨県	北杜市	子どもにとって望ましい環境を構築すること
山梨県	山梨市	生徒の気持ち
山梨県	中央市	問13と14に記載されている項目全て
山梨県	甲斐市	子どもたちの活動機会の確保
長野県	富士見町	指導者の確保するための謝金の確保
長野県	上松町	子どもたちの運動機会を確保し、選択肢を減らさないこと
長野県	飯綱町	子供たちが安心・安全にスポーツ活動を継続して行えること。
長野県	長野市	子どもたちがやりたい活動を選べる環境整備・充実
長野県	長和町	子どもたちが今まで以上にやりたいスポーツに取り組める環境を整えること
長野県	飯田市	何のための地域移行かを常に意識して進めること
長野県	大町市	人口減少を見据えた組織・仕組みづくり
長野県	白馬村	継続的な指導者の確保
長野県	伊那市	スチューデントファーストの活動、運営
長野県	山形村	指導者の資質・能力
長野県	飯島町	生徒のニーズに応じた活動の実施
長野県	下條村	継続してスポーツができる
岐阜県	富加町	保護者の理解、学校と地域の協力体制
岐阜県	御嵩町	地域クラブ活動の意義・目的の共有
岐阜県	中津川市	保護者や地域の理解と協力を得ること
岐阜県	可児市	指導者の確保
岐阜県	八百津町	子どもたちの活動の場を維持する
岐阜県	川辺町	人を育てるのは人であること
岐阜県	恵那市	子どもたちがやりたいスポーツを選択できる環境整備
静岡県	河津町	生徒の多様な要望に対して、どのような受け皿を確保できるのか
静岡県	御前崎市	地域との連携
静岡県	駿田市	子供たちが、自分のやりたい活動を選択でき、充実した活動ができる環境の整備。そのための財源・人材の確保
静岡県	掛川市	持続性のある財源の確保
静岡県	牧之原市	街づくりの一環として多くの人を巻き込むこと
静岡県	川根本町	生徒が将来にわたって継続的にスポーツに親しむことができる機会を確保すること。
静岡県	浜松市	子供たちの気持ち(意向)



道府県	市町村名	地域移行で重要視していること
愛知県	稲沢市	子どもたちが地域で多様なスポーツに親しむことができること
愛知県	東栄町	生徒個々の活動希望を充足したい。
三重県	大台町	生徒の多様なスポーツ・文化活動の機会の確保
三重県	伊勢市	子どもたちの活動する機会の確保
三重県	桑名市	生徒、保護者のニーズや、思いを考慮し、学校の実態に応じた地域移行を考えていく必要がある。
三重県	松阪市	児童・生徒に軸足を置いた活動となりうるか
三重県	伊賀市	問13,14の回答と同じ
三重県	龜山市	地域移行後の受け入れ先と学校との連携
三重県	菟野町	子どもが迷ったり、困ったりすることのないようにすること。
三重県	大紀町	指導者の確保と財源確保
三重県	志摩市	生徒に運動する環境を確保すること。
滋賀県	高島市	持続的な国の財政的支援
滋賀県	米原市	それぞれの実情に応じた地域移行
滋賀県	近江八幡市	移行後の継続性、持続性について
滋賀県	野洲市	学校、受け皿となる運営団体、行政の連携
滋賀県	甲賀市	部活動の意義と考え方
京都府	南丹市	すべての子ども達に平等に機会を与えること
京都府	宮津市	財源の確保と人材の確保
大阪府	堺市	子どものための取組になることを常に念頭においている
大阪府	能勢町	部活動は、生徒どうし及び教師と生徒との人間関係づくりや生徒指導上に大きな役割を果たしており、働き方改革面からだけの地域移行は悩ましい。
兵庫県	香美町	学校教育との有機的な連携が可能であることが重要
兵庫県	豊岡市	生徒が安全に安心してスポーツ文化芸術に親しむことができる環境をつくること
兵庫県	上郡町	生徒の活動機会の確保
兵庫県	丹波市	生徒のニーズや意欲を中心にした生徒のための地域移行にしていくこと
兵庫県	淡路市	生徒が参加する上で、格差（経済的あるいは家庭事情）が生じない環境。
兵庫県	芦屋市	生徒が生涯にわたりスポーツ等に継続して親しむことができる機会の確保
兵庫県	多可町	部活を移すのではなく、部活をなくし、地域で新たにスポーツ文化活動を展開する。
兵庫県	南あわじ市	当市では、地域移行よりも地域連携を重視し、子供たちの選択肢をひろげ、やりたいことができる環境の確保に努めている。そのため持続可能な地域クラブと連携し「できるところからできる範囲」として取り組んでいる
兵庫県	宍粟市	指導員の資質と指導員資格
兵庫県	新温泉町	持続可能な制度設計
兵庫県	養父市	子どもたちにとって多様な選択肢と人間関係を得られる活動であること。
兵庫県	丹波篠山市	地域との連携・教職員の意向確認・負担軽減
奈良県	山添村	問題等発生時の責任の所在を明確にしておくことだと考えている。
和歌山県	新宮市	生徒の活動機会を持続可能な形で確保すること
和歌山県	串本町	地域の実情に応じた形（田舎と都市部の違い）
和歌山県	広川町	子どもの活動の保障
鳥取県	伯耆町	地域活性化と教員の働き方改革
鳥取県	倉吉市	保護者への負担軽減
鳥取県	鳥取市	学校や地域の実情に応じながら進めていくこと。

道府県	市町村名	地域移行で重要視していること
島根県	松江市	生徒の運動の機会
島根県	浜田市	将来にわたって持続可能な仕組みをつくること
島根県	雲南市	子どもにとってやりたい種目(選択肢)を準備すること
島根県	西ノ島町	生徒にとって学びの場であること。競技力だけでなく、広い意味での学びの場であること。
島根県	美郷町	学校管理職の地域移行への決断
島根県	出雲市	地域の実態を考慮すること
島根県	江津市	将来にわたってスポーツや文化活動に継続的に親しむことができる機会を確保するため、子どものことを第一に考える必要がある。
岡山県	鏡野町	子どもと保護者への負担。
岡山県	井原市	参加しやすい環境
岡山県	浅口市	生徒、保護者、地域、学校お互いがプラスになること
岡山県	和気町	生徒が希望するスポーツに取り組むことのできる環境整備
岡山県	津山市	地域の関係者や保護者、児童生徒の理解促進
岡山県	矢掛町	行政機関や地域統合型スポーツクラブ、地域との連携
岡山県	瀬戸内市	補助金等がなくなったらクラブが運営できないといった事態にならないよう持続可能な地域移行の実現が必要
岡山県	新見市	市内での地域格差が生じないよう体制づくりを進めること
岡山県	赤磐市	日本の社会のスポーツに対する考え方
広島県	東広島市	持続可能なものにしていくこと。
広島県	安芸高田市	地域移行したことで生徒が不利益を被らないようにすること。
広島県	三次市	指導者が、スポーツの技術が高く、また、高い指導力を有すること。
広島県	北広島町	生徒の家庭環境に左右されることなく、やりたいスポーツに取り組めること
山口県	田布施町	持続可能な仕組みづくり
山口県	周防大島町	運動部活動の地域移行を機に地域活性化に結び付けること
山口県	萩市	地域の子どもたちが選択できる環境
山口県	岩国市	学校・地域の意識改革
徳島県	東みよし町	生徒・保護者・教職員が安心して部活動を行うことができる体制づくり
徳島県	徳島市	指導者の人材や活動場所の確保をどのように推進していくかが重要であると感じる。
徳島県	阿南市	保護者と生徒の理解と指導者の確保及び能力の向上が欠かせないと考えている。
徳島県	那賀町	人間的に優れた指導者の確保
香川県	三木町	生涯スポーツ、文化活動につながる持続可能な体制作り
香川県	綾川町	全ての子どもが平等に活動でき、現在の活動の充実度が落ちない体制づくり
香川県	さぬき市	学校との連携
香川県	小豆島町	生徒がより良い環境で指導を受けられるか
香川県	三豊市	国や県からの助成金や支援が必要である。
愛媛県	愛南町	対象となる子供の移行やニーズ
愛媛県	今治市	指導者の確保
愛媛県	久万高原町	学校と地域住民との相互理解
愛媛県	鬼北町	円滑な移行
愛媛県	松山市	関係者で話し合いの場を持つこと
高知県	四万十町	生徒が自分のやりたい部活を選択できる環境・体制の整備
高知県	津野町	地域の特性やニーズを把握しておき、地域に沿った部活動の地域移行にすることが必要
高知県	東洋町	指導者の確保

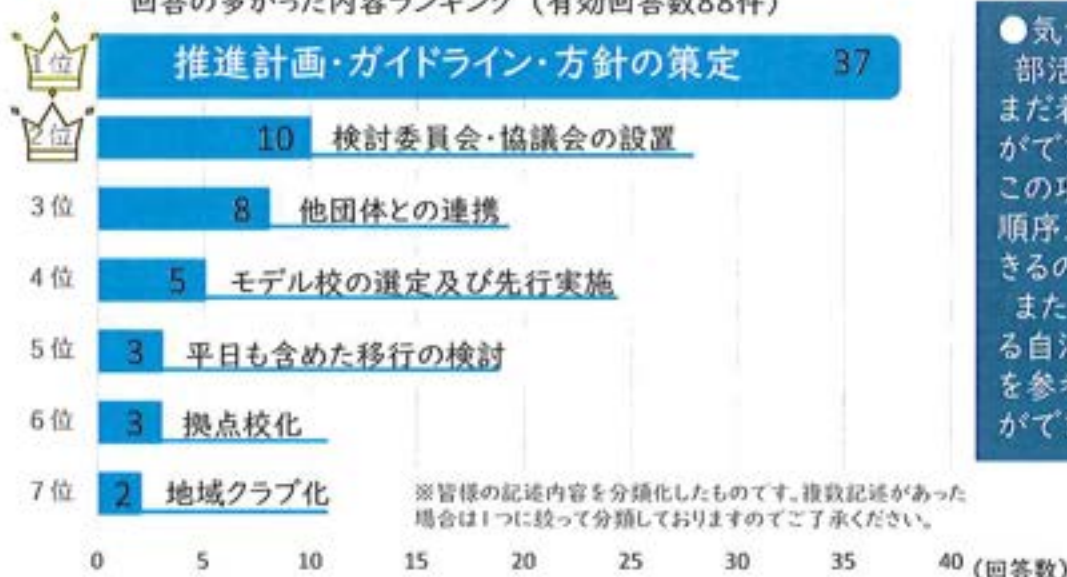
道府県	市町村名	地域移行で重要視していること
福岡県	川崎町	地域住民の理解、人材発掘など協力体制。
福岡県	福智町	いかに円滑に移行できるか
福岡県	築上町	保護者の混乱をなくすこと。保護者の理解を得ること。
福岡県	久留米市	会費が発生すると、参加できない生徒が出る可能性がある。
福岡県	みやま市	部活動を行う生徒の思い、指導する先生たちの思い、部活動に対する先生や生徒のニーズの把握
福岡県	みやこ町	財源の確保
佐賀県	みやき町	子どもの活躍の場を提供すること。【試合に出場する機会等】
長崎県	五島市	生徒が部活動(スポーツ)に参加しやすい環境づくり
長崎県	平戸市	生徒の活動の場の確保
長崎県	佐世保市	部活動が学校教育の中で行われるものなのかの位置づけ
長崎県	時津町	学校と地域が協働・融合した形での地域におけるスポーツ環境整備
熊本県	玉名市	指導者の確保、運営組織の確保及び財源の確保であり、生徒と保護者の意識改革も必要である。
大分県	竹田市	指導者に対する謝金等運営に関する必要経費(財源)の確保(国・県からの補助金)
大分県	中津市	財源の確保。財源が明確にならないと計画が立てられない。
大分県	豊後高田市	子どもたちがスポーツに継続して親しむことができる機会の確保
大分県	由布市	生徒、保護者、指導者ができる限り納得する運営ができること
大分県	宇佐市	受け皿や指導者、場所、それに関わる財源の確保等
大分県	佐伯市	子供たちが入りやすい体制作り
熊本県	美里町	子どもたちを中心に据えて物事を進める。これからもスポーツができる環境を補償していきたい。
熊本県	菊池市	移行することで、子どもたちのスポーツに対する意欲の低下
熊本県	熊本市	子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の充実を図ること
熊本県	津奈木町	指導者の選定
熊本県	南阿蘇村	指導者がいないことで生徒がやりたい部活動が出来なくなることは避けなければならない。
熊本県	長洲町	子ども達が実施したい競技がスムーズに地域移行できること。
熊本県	宇城市	指導者の確保。指導者がいなければ活動できない
熊本県	南関町	生徒の部活動に対するニーズを知り、主体的な部活動にすること
宮崎県	日南市	生徒、指導者の双方で、満足いく活動団体となり得るか。
宮崎県	宮崎市	生徒、保護者、学校職員、地域への丁寧な説明と理解
鹿児島県	いちき串木野市	生徒・保護者へなるべく負担がかからないようにすること、教職員の業務負担をすすめること。
鹿児島県	薩摩川内市	生徒にとって望ましい持続可能な部活動と教師の負担軽減
鹿児島県	天城町	地域実態に応じて活動
鹿児島県	南大隅町	指導者の確保、保護者の理解
鹿児島県	南さつま市	生徒が戸惑うことがないように環境を整えること
鹿児島県	指宿市	子どもが目標を持って取り組める場を可能な限り設定する。
鹿児島県	何久根市	子供たちの活動の場の確保及び保護者、地域の理解
鹿児島県	南九州市	本市のニーズに合った地域移行にしていきたい。
鹿児島県	与論町	持続可能性(地域にとってメリットを重視しつつ)
沖縄県	名護市	現在の中学校の部活動の形をそのまま地域に移行するという考えではなく各自自治体の生涯スポーツの在り方を考えた上で、中学校3年間の活動の在り方を考えなければいけないと考えている。
沖縄県	本部町	現行の部活動の種目について指導者を確保すること
沖縄県	久米島町	参加生徒の部活動に対する意欲と指導者の資質



## No.16

貴自治体において「運動部活動の地域移行」の独自の取り組みや構想(予定も含む)があればお聞かせください。(自由記述)

回答の多かった内容ランキング(有効回答数88件)



## ●気づき●

部活動の地域移行に関して、まだ着手していない・話し合いができていない等の自治体は、この項目を参考に実施すると、順序立てて取り組むことができるのでは？

また、既に取り組み始めている自治体も他自治体の意見を参考に選択肢を増やすことができる。



～～以下、有効回答を表にまとめて掲載しておりますので、近隣市町村や独自の取り組みや構想について、気になる自治体等があれば、本会議のコーヒープレイクの時間等を活用してぜひ情報交換をしていただけると幸いです。～～

## ●推進計画・ガイドライン・方針の策定

道府県	市町村名	地域移行の独自の取り組みや構想
茨城県	小美玉市	小美玉市部活動の在り方に関する活動方針の策定
岐阜県	御嵩町	地域移行の推進計画の具体化、部の統廃合等具体化
岐阜県	中津川市	運動部活動の地域移行に関するガイドライン(仮)を検討中
岩手県	花巻市	部活動の地域連携・地域移行基本計画の策定
茨城県	行方市	スポーツ少年団の中学生受け入れ、地域の実態に合わせたガイドラインの策定
兵庫県	丹波市	地域移行に関するガイドラインの策定を進める
愛媛県	今治市	部活動の地域移行に向けた施設使用料補助事業、島しょ部合同チームの異動費補助事業、今治市の「推進計画」を策定するための「検討委員会」、もしくは「協議会」を設置予定
岡山県	津山市	部活動の地域移行等に関する基本的な方針(推進計画)の策定
静岡県	磐田市	地域移行による、新たな放課後活動設立に関するグランドデザイン・ロードマップの策定。
滋賀県	近江八幡市	運動部活動の地域移行に関する推進計画
山口県	萩市	ガイドラインの策定
鹿児島県	指宿市	部活動の地域移行に関する推進計画・ガイドライン・方針等の策定予定
三重県	志摩市	学校部活動の方針等の策定
島根県	雲南市	市が策定する推進計画およびガイドライン
沖縄県	うるま市	「うるま市の中学校運動部活動地域移行推進計画」策定済み
大分県	豊後高田市	部活動の地域移行に関するガイドライン
香川県	さぬき市	さぬき市部活動の地域移行に関する推進計画の策定を検討中
群馬県	玉村町	推進計画の策定、拠点校による指導
千葉県	大多喜町	部活動の地域移行に関する推進計画の策定
秋田県	男鹿市	令和5年度中のガイドラインの策定。令和6年度9月以降の休日の部活動の地域以降の実施

兵庫県	養父市	運動部活動の地域移行に関する推進計画の策定
熊本県	宇城市	現時点では策定していないが今後、ガイドライン策定等が必要となってくる
鳥取県	鳥取市	鳥取市部活動改革委員会からの提言を踏まえて「鳥取市部活動の地域移行の在り方に関する第一次方針」を令和5年3月に示した。現在、その方針に沿って進めているところである。
長野県	山形村	運動部活動の地域移行に関しては、方針等の策定が必要と考えている。
熊本県	玉名市	本市の運動部活動の地域移行に関する推進計画を定め、計画に沿って進める予定である。
青森県	鶴田町	運動部活動の地域以降に関する推進計画策定
秋田県	湯沢市	県のガイドラインを受け、市の運動部活動の地域移行に関する推進計画・ガイドラインの策定を予定している
山口県	岩国市	現在、地域にあるクラブ等の紹介、部活動の地域移行に関するガイドラインの策定、コーディネーターの配置
高知県	津野町	部活動地域移行推進計画等の策定
青森県	五所川原市	検討委員会で、今後、運動部活動地域移行推進計画等の策定
福島県	田村市	方針の策定
北海道	岩見沢市	芸術・文化・スポーツの環境整備として大学との連携・協議会組織の設置ガイドライン策定に向けた取組を実施
愛媛県	松山市	県の計画を参酌し、市の方針を決める予定
福島県	本宮市	運動部活動の地域移行に関する推進計画・ガイドライン・方針等の策定
福井県	池田町	部活動地域移行方針などを定めたいと考えている
宮城県	大崎市	地域移行推進計画の策定(R5年度内)
埼玉県	鶴ヶ島市	県指針の策定(R6年1月予定)をふまえた、モデル事業の実施

## ●検討委員会・協議会の設置

道府県	市町村名	地域移行の独自の取り組みや構想
兵庫県	豊岡市	スポーツ、文化芸術団体の代表、保護者の代表11名で部活動の在り方検討委員会を組織し、教育委員会、文化スポーツ振興課の職員とともに移行の方向性やスケジュールを検討している
香川県	三木町	準備委員会等の開催
千葉県	香取市	地域クラブ運営委員会の策定
熊本県	あさぎり町	検討協議会の設置
埼玉県	嵐山町	部活動の在り方検討委員会の設置
新潟県	燕市	専門家で構成する、検討委員会を設置していること
熊本県	熊本市	R4、12に熊本市部活動改革検討委員会(審議会)を立ち上げ、検討中。
長崎県	南島原市	部活動のあり方検討委員会を本年度設置してあり方を検討している
三重県	伊賀市	伊賀市地域クラブ活動連絡協議会の発足
宮城県	登米市	今後、検討委員会を立ち上げる予定

## ●他団体との連携

道府県	市町村名	地域移行の独自の取り組みや構想
山口県	田布施町	広域連携
長崎県	五島市	市中体連と連携して地域移行を進めていくこと
石川県	七尾市	実証事業、プロスポーツ団体との連携。
新潟県	糸魚川市	糸魚川市スポーツ協会のジュニア団体支援と連携した受皿体制づくり、担い手確保
長野県	飯田市	スポーツ協会の各競技団体との連携による、全市型競技別スポーツスクールの活用
長野県	伊那市	庁内関係部署、外郭団体、学校等との懇談を重ねながら、実現可能な競技から順次移行を進めていく
徳島県	徳島市	徳島市スポーツ協会と連携し、今年度は7競技で地域クラブ活動(体験教室)を実施する予定。安全安心体制づくりとしてスポーツデータバンク㈱に委託し、システム体制を活用する。
広島県	東広島市	学校運営協議会を活用して、既存の地元団体の協力を得て、外部指導者が指導にあっている

## ●モデル校の選定及び先行実施

道府県	市町村名	地域移行の独自の取り組みや構想
鹿児島県	いちき串木野市	モデル校による先行実施から段階的に地域移行を進めていく
千葉県	成田市	千葉県のガイドラインから、令和5年9月～令和6年8月で1団体、令和6年9月～令和7年8月で10団体(予定)を部活動地域移行のモデル事業として行い、それ以降は、モデル事業をもとに検討していく
広島県	安芸高田市	市内1部活動で先行実施。
埼玉県	白岡市	4校(全校)すべてを実施するのではなく、2校ずつ段階的に進めていく計画で実施
宮崎県	宮崎市	モデル校にて、休日の地域移行についての検証

## ●拠点校化

道府県	市町村名	地域移行の独自の取り組みや構想
鹿児島県	薩摩川内市	学校や地域の実情に応じた「単独校方式」と合同部活動「拠点校方式」による幅広いニーズに応じた活動体制の整備
富山県	南砺市	拠点校化。活動形態を複数用意(拠点校型クラブ、地域型クラブ)
兵庫県	丹波篠山市	合同部活動、拠点式部活動の取り組みができればと考える



「拠点校式部活動」と「合同部活動」について...

拠点校方式とは、在籍校に希望する部活動がない、希望する部活動はあるが専門的に指導できる顧問がない場合に、参加を希望する生徒を一つの学校が受け入れる方式。(八王子市HP引用)  
 合同部活動は、複数の学校で一つの部活動を拠点校等に設置することをさし、その際は1人以上の指導者(顧問等)がその一つの部活動に対して配置されることとなる。そのため、運営の主体と責任の所在をはっきりとさせ、生徒や保護者の理解を得て行うことが必要。  
 合同チームや合同練習は、それぞれの学校に部活動がありそれぞれに指導者がいるものの、あくまで一時期に、大会に同じチームとして出場したり、一緒に練習をしたりするもの。(スポーツ庁HP引用)

## ●平日も含めた移行の検討

道府県	市町村名	地域移行の独自の取り組みや構想
岩手県	一関市	休日からの地域移行、平日を含む地域移行の両面から地域移行を進めている
熊本県	津奈木町	平日の移行も視野に入れて予定している。
滋賀県	甲賀市	土日のみではなく平日も含めた考え方

## ●地域クラブ化

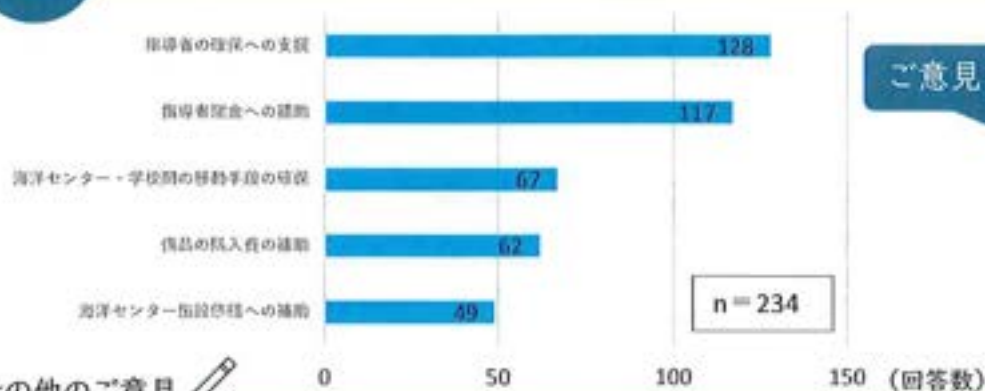
道府県	市町村名	地域移行の独自の取り組みや構想
静岡県	浜松市	令和8年度8月まで、休日の部活動は現行通り継続し、令和8年度9月以降、休日の部活動を地域クラブ活動に随時移行していく。
富山県	上市町	地域クラブ化(部活動からの完全移行)

## ●その他

道府県	市町村名	地域移行の独自の取り組みや構想
茨城県	常陸太田市	行政主導型の地域クラブ活動運営
北海道	大樹町	町独自の指導者人材バンクの導入
新潟県	上越市	地域クラブフェアの開催や指導者講習会など
埼玉県	久喜市	学校と地域をつなぐ連絡調整などを行うコーディネーターやスポーツ人材バンクとしての役割を担う地域スポーツコミッションを本年度中に設立予定
新潟県	新潟市	休日と平日を一体として捉え、新潟市の中学生のための地域運動活動・文化活動の整備を進める。部活動は令和7年度末までに各校の状況に応じて段階的に縮小を図り、令和8年度以降、勤務時間外は行わない。
青森県	中泊町	正式な地域移行前でも賃金を支払っている
島根県	松江市	学校と地域との協働による移行に向けた試行期間
京都府	南丹市	指導者や受け皿の確保が難しいので、複数の学校で「南丹市チーム」を作って対応を検討
鹿児島県	南さつま市	地域移行のクラブ数、競技数を増やしていくこと
北海道	斜里町	少年団に移行できる競技(剣道少年団・水泳少年団)は、すでに移行しており、町としては、学校部活動と同等の大会参加費用助成を行っている。
青森県	弘前市	市独自に部活動アシスタント事業を行い、指導者の権限を拡大している。
静岡県	掛川市	部活動の廃止
兵庫県	南あわじ市	当市では、上述の内容と、担い手を確保するイベント実施経費への支援と必要な備品や消耗品などの購入費支援、中学生を受けるために必要な資格取得費用助成等として1団体15万円の市独自助成制度を開始。
富山県	高岡市	学校の体育施設を活用する
熊本県	南阿蘇村	競技経験のある自治体職員を指導者として登用する。
岡山県	備前市	競技種目に関係なく、運動したい生徒を対象とした「ゆるスポ」(運動教室)を実施予定
三重県	菟野町	令和5年は部活動に指導者が入り、指導や生徒との関係づくりを連携、強化していくことで(地域移行の)体制を整備している。
静岡県	牧之原市	義務教育学校開校に合わせ小学生も参加できる地域部活動化
千葉県	いすみ市	受入団体が無い種目に関して、体作りや栄養等に関する講座を複数回実施したいと考えている
鹿児島県	与論町	文化部活動の地域移行の同時進行

## No.17

「運動部活動の地域移行」にあたり、当財団へのご意見・要望等（複数回答可）



ご意見・ご要望ありがとうございます。



### その他のご意見

- ・地域の中学生の地域運動活動の場として、運営団体・指導者となってほしい。バスを所有しているようであれば、どの範囲まで回れるか検討してほしい
- ・中体連の大会出場に必要な公認資格取得が求められる種目に対して、その費用の助成、指導者の資質向上のための研修・講習会費用の助成
- ・移動手段に対する補助 ・海洋センターの空調設備の補助 ・研修会等の講師謝金
- ・経済的に困窮する家族の生徒の参加費用の支援等

第 20 回 B&G 全国教育長会  
「部活動の地域移行に関する現状調査」回答書

回答期限:2023 年 8 月 24 日(木)

【回答上の注意】

- ・紫のメッセージバーに回答をご記入ください
- ・ラジオボタン○やチェックボックスはクリックするとチェックが付きます
- ・赤枠は必須回答となりますので、必ずご回答をお願いいたします
- ・黒枠は該当する場合のみご回答をお願いいたします
- ・同一自治体内に複数の海洋センターがある場合、本会盟の連絡担当者が属する海洋センター名・海洋センターコード、いずれか1つをご記入ください。(回答は1自治体につき1回答で結構です)

1. 自治体プロフィール

- 道府県名:( ) 市町村名:( )
- 海洋センター名:( ) B&G 海洋センター ※センターが複数ある場合はいずれか1つ
- 海洋センターコード:( ) ※半角数字/センターが複数ある場合はいずれか1つ
- 人口区分: 5千人未満 5千~1万人未満 1万~5万人未満 6万~10万人未満  
10万~20万人未満 20万~50万人未満 50万人以上
- 公立中学校の数:( )校 総生徒数( )人
- 公立高校の数:( )校 総生徒数( )人
- 公立中学校生徒の部活動所属状況(割合):約( )%
- スポーツ協会加盟団体の数:( )団体
- 総合型地域スポーツクラブの数:( )クラブ
- スポーツ少年団の数:( )団体 総団員数( )人

2. 貴自治体における「運動部活動の地域移行」関連の担当部署名を教えてください。

- 部署名:( )
- 電話番号:( ) e-mail:( )
- 部活動改革に向けて部署等を新設した 既存の部署に担当者を新たに置いた

3. 貴自治体では、運動・スポーツに関する推進計画等(スポーツ推進の内容を盛り込んだ生涯学習計画や総合計画等を含む)を策定されていますか。

- 策定している 今後策定を予定している 策定していない ⇒2 ページ4へお進みください

3-1 その推進計画の期間をご記入ください。(策定予定の場合は予定期間)

令和( )年度 ~ 令和( )年度



3-2 貴自治体の推進計画等の中で重点的に取り組むテーマ・ターゲットとしている、したいものは何ですか。

- |                                    |                                       |                                      |
|------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 子どものスポーツ  | <input type="checkbox"/> 障害者のスポーツ     | <input type="checkbox"/> スポーツ産業の充実   |
| <input type="checkbox"/> 働く世代のスポーツ | <input type="checkbox"/> 住民の健康増進      | <input type="checkbox"/> スポーツボランティア  |
| <input type="checkbox"/> 女性のスポーツ   | <input type="checkbox"/> 地域経済の活性化     | <input type="checkbox"/> その他(具体的に: ) |
| <input type="checkbox"/> 高齢者のスポーツ  | <input type="checkbox"/> スポーツ施設・環境の整備 | <input type="checkbox"/> 特にない        |

4. 貴自治体の属する道府県では、「運動部活動の地域移行」に関する計画(ガイドラインや方針等)を策定していますか。

- 策定している       策定中       策定していない

5. 貴自治体の属する道府県から、「運動部活動の地域移行」に関する方針や説明会開催の連絡はありましたか。

- あった       なかった       不明・覚えていない

6. 貴自治体における「休日の運動部活動の地域移行」の取り組み状況をお聞かせください。

【検討中・今後検討】

- 具体的な移行先や指導者確保等の検討を終え、これから実施する  
 具体的な移行先や指導者確保等、現在検討中である  
 全体の方向性や具体的な方法等はこれから検討する

【実施中】

- 地域のすべての公立中学校で実施している  
 地域の一部の公立中学校で実施している

【実施しない】

- 実施予定なし(その理由: )⇒4 ページ 18 へお進みください

7～17 は6で【検討中・今後検討】【実施中】と回答した方におうかがいします。【実施しない】と回答した方は4 ページ 18 へお進みください。

7. 運動部活動の地域移行に際し、貴自治体 B&G 海洋センターの関わりをお聞かせください。

- 実施場所として海洋センター施設を利用している(予定も含む)  
 B&G 指導員(または海洋センター担当者)が指導に携わっている(予定も含む)  
 海洋センター指定管理者が運営する総合型地域スポーツクラブが受け皿となっている(予定も含む)  
 現在は関わっていないが検討中  
 現在は関わっておらず、今後関わる予定もない →(その理由: )  
 その他(具体的に: )

7-1. 「検討中」と回答された方は、海洋センター施設の活用に向けて課題になっていること等があればお聞かせください。

- 海洋センターが学校から遠く移動手段がない(例:保護者の送迎が発生する等)  
 実施したい種目に必要な備品が揃っていない(例:バレーボール用の支柱・ネットが無い等)  
 海洋センター施設の修繕が必要(例:安全性が確保できない等)  
 その他(具体的に: )

8. 「運動部活動の地域移行」において、受け皿となっている、または受け皿として検討している団体を選んでください。

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 総合型地域スポーツクラブ     | <input type="checkbox"/> 教育委員会等             |
| <input type="checkbox"/> プロスポーツチーム        | <input type="checkbox"/> スポーツ少年団や地域のスポーツクラブ |
| <input type="checkbox"/> 企業スポーツチーム        | <input type="checkbox"/> 道府県スポーツ協会          |
| <input type="checkbox"/> 市町村スポーツ協会        | <input type="checkbox"/> 民間スポーツクラブ          |
| <input type="checkbox"/> 大学               | <input type="checkbox"/> 海洋センターの指定管理者       |
| <input type="checkbox"/> その他(具体的に: _____) |   |

9. 「運動部活動の地域移行」において、指導者として活動している、または想定している方を選んでください。

- |  |                                  |   |                              |
|--|----------------------------------|---|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 地域指導者(民間事業者)  | <input type="checkbox"/> B&G 指導員 | <input type="checkbox"/> 大学生              | <input type="checkbox"/> 保護者 |
| <input type="checkbox"/> 地域指導者(ボランティア) | <input type="checkbox"/> 教員      | <input type="checkbox"/> その他(具体的に: _____) |                              |

10. 指導者の確保について、利用している(する予定の)制度・サービスはありますか。

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 道府県の人材バンク       | <input type="checkbox"/> 公的機関の指導員派遣サービス   |
| <input type="checkbox"/> 民間事業者の指導員派遣サービス | <input type="checkbox"/> その他(具体的に: _____) |

11. 「運動部活動の地域移行」を推進するにあたり、活用予定の国(スポーツ庁)の交付金や補助制度等があればご記入ください。

( \_\_\_\_\_ )

12. 交付金や補助制度等を活用する場合、以下のどの費目を使用する予定ですか。

- |   |                                |                               |                                |                              |                              |
|---|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 謝金               | <input type="checkbox"/> 通信運搬費 | <input type="checkbox"/> 消耗品費 | <input type="checkbox"/> 消耗備品費 | <input type="checkbox"/> 委託料 | <input type="checkbox"/> 賃借料 |
| <input type="checkbox"/> その他(具体的に: _____) |                                |                               |                                |                              |                              |

13. 「運動部活動の地域移行」において、最も課題だと感じることを1つ選択し、その具体的な内容をご記載ください。

- |  |  |
|--|--|
| <input type="radio"/> 運営団体(受け皿)の確保     | <input type="radio"/> 指導者の確保               |
| <input type="radio"/> 活動場所の確保          | <input type="radio"/> 財源の確保                |
| <input type="radio"/> 保護者の理解           | <input type="radio"/> 教職員の理解               |
| <input type="radio"/> 生徒の意欲            | <input type="radio"/> 事故・けが等のトラブル発生時の責任の所在 |
| <input type="radio"/> 会費や保険            | <input type="radio"/> 大会の在り方               |
| <input type="radio"/> その他(具体的に: _____) |  |
| <input type="radio"/> 課題に感じていることはない    |  |

具体的な内容:( \_\_\_\_\_ )

14. 「運動部活動の地域移行」において、その次に課題だと感じることを1つ選択し、その具体的な内容をご記載ください。

- |                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 運営団体(受け皿)の確保   | <input type="radio"/> 指導者の確保               |
| <input type="radio"/> 活動場所の確保        | <input type="radio"/> 財源の確保                |
| <input type="radio"/> 保護者の理解         | <input type="radio"/> 教職員の理解               |
| <input type="radio"/> 生徒の意欲          | <input type="radio"/> 事故・けが等のトラブル発生時の責任の所在 |
| <input type="radio"/> 会費や保険          | <input type="radio"/> 大会の在り方               |
| <input type="radio"/> その他(具体的に:<br>) |  |
| <input type="radio"/> 課題に感じていることはない  |  |

具体的な内容:( )

15. 「運動部活動の地域移行」をする上で、重要視していること、最も大切だとお考えのことをご記入ください。  
( )

16. 貴自治体において「運動部活動の地域移行」の独自の取り組みや構想(予定していることでも可)があればお聞かせください。(例:運動部活動の地域移行に関する推進計画・ガイドライン・方針等の策定)  
( )

17. 「運動部活動の地域移行」にあたり、当財団へのご意見・要望等があればお聞かせください。特に、国の交付金等において対象外経費となっているものについて、対象としてほしい等あれば具体的に記入ください。

海洋センター・学校間の移動手段の確保(車両等)

海洋センターで部活動を実施するための備品の購入費の補助(ゴール、支柱、レーンロープ、スマートロック、什器等)

海洋センター施設修繕への補助

指導者の確保への支援

指導者謝金への補助

その他(具体的に: )

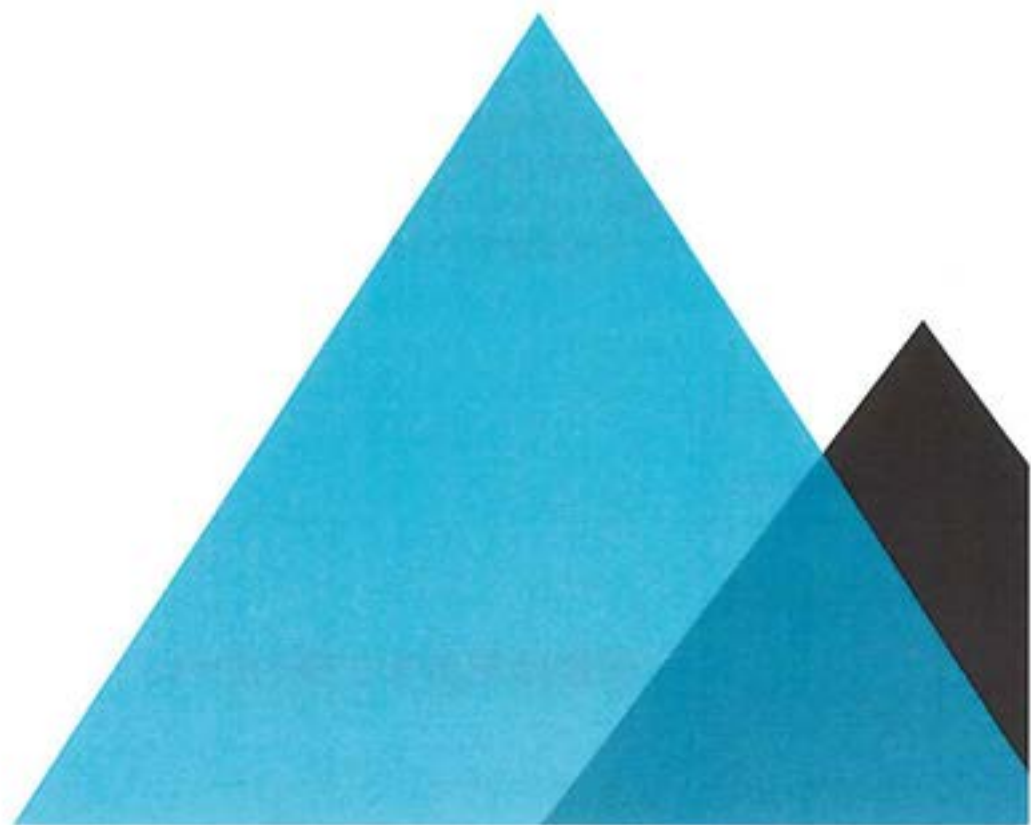
MEMO

B&G FOUNDATION



## 2. シンポジウム

『子どもが主役の部活動革を考える  
～新しいブカツのかたち～』





S

starts



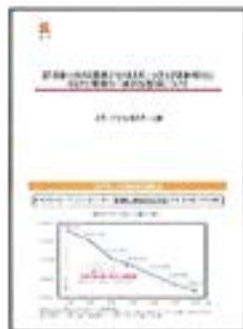
## 橋田 裕 氏

---

▶スポーツ庁地域スポーツ課長

スポーツ庁において運動部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行を担当する部署の責任者。

令和4年12月策定のガイドラインでは、2023年度から2025年度までを改革推進期間として地域連携・地域移行を推進することとしており、スポーツ庁において、部活動の地域移行等に向けた実証事業、部活動指導員の配置支援、部活動改革ポータルサイトでの情報発信、自治体からの相談窓口となる地域スポーツクラブ活動アドバイザー事務局の設置等に取り組んでいる。



←資料は別冊をご覧ください



## 佐藤 嘉晃 氏

---

▶静岡県 掛川市 教育長

### 【B&G海洋センター情報】

- ・掛川市大東B&G海洋センター 【11年連続特A評価】  
1981年開設 上屋付きプール、艇庫
- ・掛川市B&G海洋センター 【15年連続特A評価】  
1981年開設 艇庫、体育館
- ・掛川市大須賀B&G海洋センター【特A評価】  
1986年開設 上屋付きプール

## 静岡県掛川市

令和5年11月8日  
掛川市 教育長  
佐藤 嘉晃



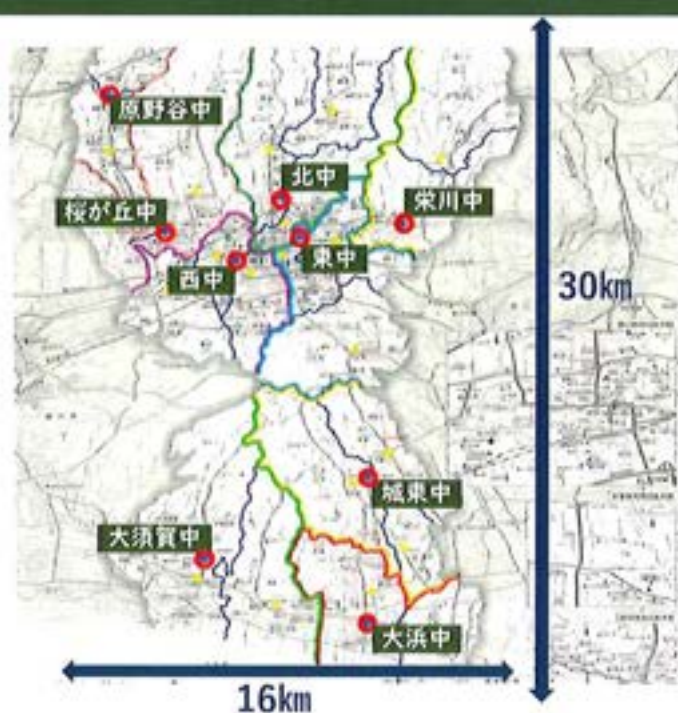
## 掛川市の学校

2

### 掛川市

人口	116,038人
面積	265.7 km <sup>2</sup>
小学校数	22校(市22)
小学校児童数	6,479人
中学校数	9校(市9)
中学校生徒数	3,243人

令和4年掛川市統計書より







子どもたちがチャレンジしたいこと

Q1 取り組んでみたい種目は？



サッカー



料理



バドミントン



美術



軟式野球



プログラミング

Q2 活動希望日数は？



Q3 大会に出場したい？



Q4 2つ以上の活動に取り組みたい？



2023年度市内小学生アンケート  
小4～6対象 2,972人回答 (89.5%)



- ▲限られた種目から選択、学校間の差
- ▲一意専心、習い事をやめて参加も
- ▲週4～5日、年400時間超の活動時間
- ▲顧問の経験の有無は問えない配置
- ▲競技かエンジョイかは部の方針次第
- ▲練習が少なければ「勝てない」焦り
- ▲「勝たせなければ」という重圧
- ▲中学3年生で退部（引退）する仕組み

休日の部活動を地域へ移行して解決できるのだろうか？

- 1 多様な価値観、考え方に応えることのできる環境にしたい
- 2 誰もが無理なく、持続できる文化・スポーツ活動にしたい

現在の部活動という枠組みでは実現が難しい



令和8年8月  
**2026**  
部活動廃止 →

メッセージ

既存の形に捉われず、新たな形を創る

**観の大転換**

学校・教員・保護者・地域

## 「観」を変えるための第一歩

子どもが、もっとも取り組みたいことは何かを考え、選択する

- 1 中学校の部活動
- 2 公認地域クラブ
- 3 総合型スポーツクラブ（掛スポ）
- 4 地域団体の地域クラブ、スポ少、サークル
- 5 民間企業の地域クラブ
- 6 塾、教室（スクール）

取組①

平成30年度

**部活動の自由加入制**

取組②

令和3年度末

**地域クラブの公認制度**



**1年半で20クラブ以上が公認地域クラブへ**

バドミントンクラブ



部活動種目がない

**新たな選択肢**

エアロビッククラブ



小～大学生

**多世代参加**

美術クラブ



週1回

**マルチに活動**



創設検討中のクラブ

掛川市スポーツ協会

- ・軟式野球クラブ
- ・バスケットボールクラブ
- ・サッカークラブ
- ・バレーボールクラブ
- ・陸上競技クラブ
- ・卓球クラブ
- ・ソフトボールクラブ
- ・バドミントンクラブ
- ・ソフトテニスクラブ
- ・その他のスポーツ種目のクラブ

掛川市文化財団

- ・掛川デジタルクラブ
- ・掛川吹奏楽クラブ
- ・その他の文化種目のクラブ



「既存の形に捉われず、新たな形を創りましょう」

- 「持続可能なクラブ活動になるように、適切な会費設定が必要では？」
- 「指導者や保護者が無理のないように、全体のサイズダウンをしては？」
- 「複数の中学校区から参加しやすいように場所や時間を設定しては？」
- 「小学生から入部できる形もよいのでは？初めての子にも基礎を教えやすい」
- 「引退なく続けられるという可能性は？高校生が入部できる形もよい」
- 「個人種目なので、自分で参加日数を選べるという形もよいのでは？」
- 「拠点に全クラブ生を集めれば、技能や志向別に指導することも可能では？」

地域全体のウェルビーイング

- 

**魅力ある授業づくりチャレンジ!**  
※活動時間による1単位/1単位
- 

**指導したい種目の指導に専念!**  
※教員数の確保と、教員のパフォーマンス
- 

**学校は地域住民の学び舎へ!**  
※地域開放の推進、さらにコミュニティの活用
- 

**地域クラブ創設にチャレンジ!**  
※地域クラブ創設支援、さらに地域クラブ連携の推進
- 

**クラブの指導者としてチャレンジ!**  
※専任指導者確保の推進
- 

**チャレンジを市民に伝えるみで応援!**  
※新しい取り組みの推進、クラブ活動の活性化の推進



- 

**部活動種目にはない活動にチャレンジ!**  
※活動の種目によるもの(1単位/1単位)
- 

**全国大会へ向けてチャレンジ!**  
※活動の種目によるもの(1単位/1単位)
- 

**多世代の仲間と一緒にチャレンジ!**  
※学生時代に思い入れのある活動の推進
- 

**様々な地域の仲間とチャレンジ!**  
※地域連携による活動の推進
- 

**「やる」から「支える」へチャレンジ!**  
※活動の種目によるもの(1単位/1単位)
- 

**健康な身体づくりへチャレンジ!**  
※専任指導者確保の推進
- 

**複数種目の活動にチャレンジ!**  
※専任指導者確保の推進



学校の部活動	部活動指導員積極配置 活動日数、時間見直し	部活動廃止
市スポーツ協会 市文化財団	モデルクラブ先行実施 R8創設クラブ検討	新クラブ体制発足 <b>「かけがわ地域クラブ」</b>
市民団体クラブ	公認地域クラブ募集	

本日はありがとうございました。



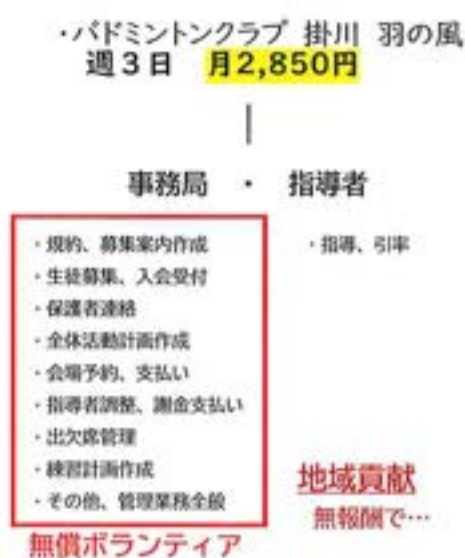
## 地域クラブでは会費設定が重要なポイント

<参考①>

### 掛川市スポーツ協会



### その他の地域団体



## 部活動（クラブ）運営に必要な業務を誰が担うか <参考②>

- ◎：学校や市教委事務局が担う業務
- ：部活動顧問が担う業務 **40業務超**

### 【部活動運営に関すること】

- 活動方針の決定
- 利用場所（活動拠点）の調整、予約
- 施設（部室等）の管理
- 全体実施計画の作成
- 各月の活動計画の作成
- 練習場の施設利用調整
- 活動の周知（保護者案内等）
- 参加者の入部受付、名簿作成
- 参加者の退部手続き
- 活動の中止準備
- 備品の管理
- 備品の購入手続き
- 部費（実費）の管理
- 生徒募集活動（見学会、体験会）の対応

### 【地域指導者（部活動指導員、外部指導者）に関すること】

- ◎部活動指導員の任用、配置
- ◎部活動指導員の時間管理
- ◎部活動指導員の手当支払
- ◎部活動指導員の保険加入
- ◎部活動指導員への研修
- ◎部活動指導員への面談・評価等
- ◎部活動指導員の実績簿作成
- ◎部活動指導員への活動計画連絡
- 部活動指導員との日程調整
- 部活動指導員との指導方針、指導内容調整
- ◎外部指導者の配置許可
- 外部指導者への活動計画連絡
- ◎外部指導者との日程調整
- 外部指導者との指導方針、指導内容調整

### 【生徒に関すること】

- 練習指導（平日、休日）
- 大会引率
- 参加状況の把握、遅刻、早退、欠席連絡受付
- 活動中のケガ対応
- 生徒相談、人間関係トラブル対応
- 下校指導

### 【協会等への登録・大会運営に関すること】

- 大会運営のための会議、打合せ
- 審判派遣依頼、審判調整
- 当日の大会運営
- 生徒やチームの協会等への登録手続き
- 大会参加手続き
- バス等の手配（中体連主催大会は学校が一括手配）
- ◎バス代の支払い

### 【保護者との連絡】

- 無断欠席時の連絡
- ケガ等の報告
- 保護者相談受付、対応
- 部費、大会参加費集金の連絡
- 保護者会への連絡（活動日程、練習試合日程、大会日程等）、調整
- 保護者会幹事等への参加、会場手配、活動内容説明
- 生徒の会場移動に関する相談、調整
- 荷物運搬に関する保護者への相談

### 【労務管理】

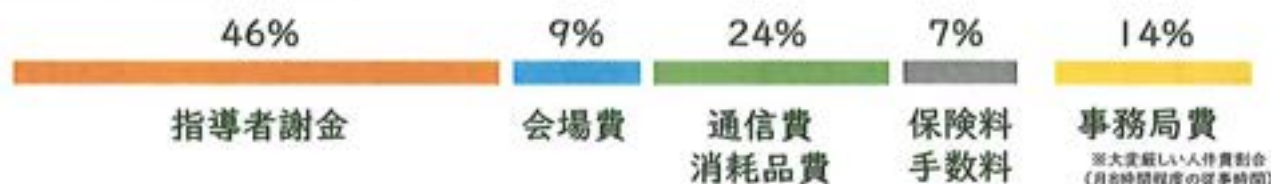
- ◎顧問の従事時間管理
- 特殊勤務手当申請
- ◎特殊勤務手当支給

### 【その他】

- 協会等の指導者ライセンス取得
- ユニフォーム、審判用具等の購入
- ◎部活動の設置、廃止部
- ◎顧問教員の配置決定
- ◎顧問教員の研修
- ◎部活動運営方針、マニュアル等の作成

## モデルクラブにおける月会費の内訳 <参考③>

掛川デジタルクラブ  
週1回 月4,000円



1年間で **959,200円**

10人の会員では… 1人 8,000円/月    20人の会員では… 1人 4,000円/月

8~3月まで中3が抜けると⇒9.7か月分の収入  
年度当初20人の会員でも… 1人 4,944円/月



## 持続させるための適正な会費を設定すること

<参考④>

掛川デジタルクラブ  
週1回 月4,000円

静岡県の方針

「できる限り低廉な費用負担で」



無償ボランティアに頼る運営で持続できるのか

「クラブの運営も指導も無報酬というのはかなり苦しいと思う。私たちのクラブでも、無償ボランティアの指導者は毎回来てくれない。「行けるときに行くよ」では、クラブが成り立たない。」



地域クラブ運営者

1年間で 355,600円

10人の会員では… 1人 3,667円/月

20人の会員では… 1人 1,833円/月

※3年生が8月で引退する場合

## 部活動のような少人数運営では持続できない

<参考⑤>

某地域クラブの損益分岐点例

参加人数	収入	支出	収支
15	750,000	1,056,278	-306278
16	800,000	1,056,278	-256278
17	850,000	1,056,278	-206278
18	900,000	1,056,278	-156278
19	950,000	1,056,278	-106278
20	1,000,000	1,056,278	-56278
21	1,050,000	1,056,278	-6278
22	1,100,000	1,056,278	43722
23	1,150,000	1,056,278	93722
24	1,200,000	1,056,278	143722
25	1,250,000	1,056,278	193722

- ①会費を上げる
- ②指導者を減らす（謝金を減額）
- ③学校施設を活用する
- ④活動時間、日数を減らす
- ⑤拠点を統合する
- ⑥自治体の財政支援
- ⑦国等の補助金
- ⑧企業等の協賛、人的支援
- ⑨自治体が直営でクラブ運営
- ⑩システムで人件費削減

MEMO

B&G FOUNDATION



## 浅井 伸行 氏

---

▶兵庫県 南あわじ市 教育長

### 【B&G海洋センター情報】

- ・南あわじ市南淡B&G海洋センター 【16年連続特A評価】  
1981年開設 艇庫、体育館

# 「学ぶ楽しさ日本一」

～南あわじ市が目指す部活動の地域連携・移行～



～南あわじ市～



## 1. 南あわじ市

【人口】 44,576人  
(R5.9月末)

【学校】 小学校 14校  
          中学校 4校  
          小中一貫校 1校



## 2. 部活動地域連携・移行に係る本市の課題

- ① 受け入れ団体（受け皿）の不足
- ② 指導者の不足
- ③ 平日・休日の指導方針のすり合わせ
- ④ 休日から平日への地域移行に係る課題
- ⑤ 参加費・移動費等の経費



## 3 なぜ進めるのか（南あわじ市の将来を見据えて）

現状

- ① 現在の中学生生徒数 1,159名（R5.9.1現在）  
【1年生384名、2年生378名、3年生397名】
- ② 部活動数 46 運動部（34）、文化部（12）
- ③ 令和4年度の出生数 192名（男子106名、女子86名）



将来

- ① このままでは各校の部活数を維持できない。
- ② 地域連携・移行を進めることで、生徒の選択肢を広げ、今までできなかったことにもチャレンジできる。



## 4 基本方針

### ① 生徒の選択肢を広げる。

生徒数の減少が加速する中で、部活動の数を減らして済む問題ではありません。本来部活動は、興味のある活動に没頭することで、自主性の育成や達成感の獲得、責任感・連帯感の涵養など多くの役割を果たしてきました。

それ故に数多くのスポーツや文化・芸術活動に触れる機会の確保が重要になってきます。

### ② できるところから、出来る範囲で地域連携・移行へ

学校部活動の地域連携・移行の進め方については、活動の種類(スポーツ、文化・芸術)によって違ってきます。また個人で活動するのか、団体で活動するのかによっても違ってきます。スポーツにおいては中体連の試合に参加するか否かによっても違ってきます。

このように進め方は一筋縄ではいきません。多種多様です。それ故に、保護者、生徒、地域の皆様に本市の基本方針について正しく理解いただき、学校・地域・家庭の連携のもと、出来るところから進めていくことが大切です。



## 5-1



### 南あわじ市部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)

2023年10月5日

今までの取組

【短期】  
【全体】



文科、道	1期～3期	1期	2期	3期	4期	5期
中学校	1/21(月)～3/1(水) 中学校部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) 中学校部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) 中学校部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) 中学校部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) 中学校部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) 中学校部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)
小学校	1/21(月)～3/1(水) 小学校部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) 小学校部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) 小学校部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) 小学校部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) 小学校部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) 小学校部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)
幼稚園	1/21(月)～3/1(水) 幼稚園部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) 幼稚園部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) 幼稚園部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) 幼稚園部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) 幼稚園部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) 幼稚園部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)
その他	1/21(月)～3/1(水) その他部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) その他部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) その他部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) その他部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) その他部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)	1/21(月)～3/1(水) その他部活動の地域連携・移行計画(～R5.5)



## 南あわじ市部活動の地域連携・移行計画

2023年10月19日

5-2

今までの取組

【長期】  
【全体】



令和5年度4月～9月	令和5年度10月～3月	令和6年度4月～9月	令和6年度10月～3月	令和7年度4月～9月	令和7年度10月～3月
学校部活動の地域連携、 地域クラブ活動への移行		平日の環境整備はできるところから！ 休日の進捗状況等検証		地域クラブ活動への移行 可能な限り早期の実現を目標とする	
6月1日地域移行協議会 (情報共有) ・学校、地域クラブ活動の 入部・参加、進捗状況等 の把握 ・地域連携、移行の方向性 、進捗状況について	地域移行協議会開催(1月 秋入学可成国体リリス)作成	地域移行協議会開催 5月、9月 (情報共有) ・学校、地域クラブ活動 の入部・参加、進捗状況 の把握 5月中旬 地域クラブ活動意向調査	地域移行協議会開催 5月、9月 (情報共有) ・学校、地域クラブ活動 の入部・参加、進捗状況 の把握 ・地域連携、移行の方向性 、進捗状況について	地域移行協議会開催 5月、9月 (情報共有) ・学校、地域クラブ活動 の入部・参加、進捗状況 の把握 5月中旬 地域クラブ活動意向調査	地域移行協議会開催 5月、9月 (情報共有) ・学校、地域クラブ活動 の入部・参加、進捗状況 の把握 ・地域連携、移行の方向性 、進捗状況について
4月1日文化・スポーツ 部、学校文化推進委員会 スタート	4月1日学校施設、社会教育 施設等学生受け入れ関係 資料作成スタート				
部活動入部 5.23第1部活動推進委員会 開催/分科部活動推進委員会 7.24部活動、野球 7.28サッカー	12月第2部活動推進委員会 1月第3部活動推進委員会 各校入学説明会	5月第1部活動推進委員会 8月第2部活動推進委員会	12月第3部活動推進委員会 1月第4部活動推進委員会 各校入学説明会	5月第1部活動推進委員会 8月第2部活動推進委員会	12月第3部活動推進委員会 1月第4部活動推進委員会 各校入学説明会
学校・入部申込書 全校整備 5月全校集結 部活動アンケート 4月1日 第1回生徒Webアンケート	10月1日～ 第1回生徒Webアンケート 2～3月 教職員動員実地調査実施	学校・入部申込書 全校整備 ・5月全校集結 部活動アンケート 地域クラブ活動・ 各自進捗確認		学校・入部申込書 全校整備 ・5月全校集結 部活動アンケート 地域クラブ活動・ 各自進捗確認	
地域クラブ活動・ 各自進捗確認 5月全校集結			9月～10月 教職員動員実地調査実施		9月～10月 教職員動員実地調査実施
教員の業務負担による地域クラブ活動への促進 →					
地域クラブ活動参加 ・参加の決定在籍申請書へ 連絡	10月 受入団体アンケート 1月 受入団体説明会 (スポーツ・文化・芸術)	地域クラブ活動参加 ・参加の決定在籍申請書へ 連絡	10月 受入団体アンケート 1月 受入団体説明会 (スポーツ・文化・芸術)	地域クラブ活動参加 ・参加の決定在籍申請書へ 連絡	10月 受入団体アンケート 1月 受入団体説明会 (スポーツ・文化・芸術)
9月1日受入団体説明会 (スポーツ)	9月 受入団体説明会 (文化・芸術)	4月 地域移行協議会 (スポーツ)	9月 受入団体説明会 (文化・芸術)	4月 地域移行協議会 (スポーツ)	9月 受入団体説明会 (文化・芸術)

5-3

今までの取組

【各関係機関】



### ① 南あわじ市部活動地域連携・移行協議会 (R4.12.22設置)

①R4.12.22 ②R5.1.26 ③2.20 ④6.26

メンバー:◇スポーツ協会会長 ◇文化協会会長 ◇スポーツ推進委員会委員長 ◇スポーツクラブ21会長  
(12名) ◇市連合PTA会長 ◇小学校校長会会長 ◇中学校校長会会長 ◇市中学校体育連盟会長  
◇市中学校運動部活動教職員代表 ◇市中学校文化部活動教職員代表 ◇教育長 ◇教育次長

### ② スポーツ、文化・芸術団体

◇スポーツ協会、文化団体アンケート 【～R5.1.24】  
◇スポーツ受入団体説明会 ①R5.1.31 ②3.3 ③7.21  
◇文化・芸術受入団体説明会①R5.1.30 ②3.3 ③7.28

### ③ 学校

◇教職員Webアンケート ①【R4.12.7～R4.12.15】  
◇教職員向け資料配布 【R5.1.29】  
◇中学校部活動担当者会 ①R4.12.5 ②R5.1.26 ③2.14 ④3.14 ⑤5.23

### ④ 生徒・保護者

◇児童・生徒(小5～中2)・保護者:Webアンケート 【R5.1.16～R5.1.24】  
◇保護者:各校の入学説明会にて説明  
◇中学2,3年生資料配布 【3.24】 ◇中学1年生オリエンテーション 【4月初旬】  
◇中学1～3年生部活動・地域クラブアンケート 【R5.6.16～4.22】

## 6-1 今年度の進捗状況

- ① 市内の中学校数 5校(市内の中学生数 1159名)
- ② 市内の部活動数 ◇運動部34部 ◇文化部12部 ◇計46部
- ③ 地域クラブ受入可能団体 ◇スポーツ33団体 ◇文化・芸術41団体 ◇計74団体
- ④ 中学生が活動している地域クラブ ◇スポーツ27団体 ◇文化・芸術7団体 ◇計34団体
- ⑤ 部活動指導員数 8名(運動部7名、文化部1名)  
◇運動部・・・ソフトテニス(2)、ソフトボール、陸上、サッカー、卓球、柔道 ◇文化部・・・吹奏楽  
◇謝金 1,600円/時間(7時間/週、5時間/週)  
◇指導者派遣可能団体 スポーツ38団体、文化・芸術34団体
- ⑥ 2校による合同部活(サッカー)



## 6-2 今年度の進捗状況

### (1) 南あわじ市教育委員会推進体制

3課によるスクラム体制

◇体育青少年課

○スポーツ団体、B&G海洋センター等  
のスポーツ施設対応

◇社会教育課

○文化・芸術団体、公民館施設等対応

◇学校教育課

○教職員、児童・生徒、保護者対応

### (2) 教職員の意識

南あわじ市の状況(令和4年12月調査)

① 部活動の地域移行について

賛成 72%、反対 28%

② 部活動の地域移行に伴う地域クラブへの関わりについて

有償、無償にかかわらず関わりたい・・・10%

有償であれば関わりたい・・・・・・・・・・26%

どちらとも言えない・・・・・・・・・・64%





# 生徒の所属情報

2023/10/17 13:35 現在  
主: 地域クラブ  
副活動: + 地域クラブ

1				
2	様式野球	ヤング波路	○	○
3		アイランドホークス波路ボーイズ		○
4	軟式野球	神戸レッドボールズ	○	
5	水泳	HSI朝あそび	○	○
6		HSI鎌倉	○	
7		体上りっく	○	
8		ST水泳	○	
9	アクトバット	TUMBLRAスタンドラ		○
10	バレー	Dile monster	○	
11	弓道	弓道クラブ	○	
12		浜野島弓道会	○	
13	卓球	阿部翼卓球ジュニア	○	
14		ホワイテボール		○
15		ウスカス		○
16	柔道	阿部翼ジュニア		○
17		横浜少年柔道教室	○	
18	サッカー	波路ユナイテッド	○	○
19		五色FC	○	○
20		FCフレスカ神戸	○	
21		FC AWJ under 15		○
22	ソフトテニス	西あわじ西ソフトテニスクラブ	○	○
23	バスケットボール	HSIアカデミー		○
24	ボクシング	真正ボクシングジム	○	
25	相撲	西あわじ相撲道場	○	
26	合気道	大坂東武体育会 浜野島道場		○
27	総合格闘技	トリニティーサンズ熊本		○
	ボルダリング	ボルダリング		○

文化芸術	書道	書道	○	
	水書道	棋会	○	
	吹奏楽	波路吹奏楽団	○	
	合唱	西あわじ西少年少女合唱団	○	
	ダンス	○-NEXT WAY	○	○
		SWAGBOX	○	
フラ	Anaji Akiba Studio		○	



## 7 これから・・・(さらに推進するため)



### 課題の整理

- ・学校教育の延長? or 社会教育への移行?
- ・高校部活動との連携
- ・人材の確保、指導者指導力・資質向上研修
- ・選手派遣費、大会参加費、保険代、環境整備費、道具等消耗品費
- ・活動場所の確保(使用料等)、送迎
- ・教育委員会窓口の一本化
- ・地域連携・移行についての周知徹底、理解を深める

## 8-1 本市の課題に対する対策

定期的な受入団体説明会、年1回のWebアンケート実施

補助金等制度の見直し

- ・ 選手派遣費・・・『南あわじ市選手派遣費補助金制度』
- ・ 道具・環境の整備費、イベント等の経費や、受け入れ準備に必要な経費  
・・・『文化・スポーツ担い手強化応援補助金制度（1クラブ最大15万円の補助）』

学校施設の利用拡充、社会教育施設の使用料減免等

教職員、生徒への定期的なアンケート



## 8-2 B&G海洋センターに係る活用方法について

①人材（指導者・研修の講師）の活用

②施設の活用（体育館、武道館、グラウンド、テニスコート等）

③総合運動施設（スポーツセンター）としての活用



## 9 子どもたちの選択肢を広げよう!

～やりたい気持ち(没頭すること)が一番～



できるところからできる範囲で



MEMO

B&G FOUNDATION



## 星野 明宏 氏

---

- ▶株式会社オフィスホシノ 代表取締役
- ▶東芝プレイブルーバス東京 プロデューサー
- ▶静岡聖光学院中学校・高等学校 前学校長
- ▶経済産業省「未来のブカツ」実証事業「ブカツコーチ」

民間企業を経て、筑波大学大学院でコーチングを研究。

2005年より静岡聖光学院中学校・高等学校寮教員としてラグビー部顧問を務める。担任、学年主任、教頭、副校長を経て学校長に就任。(2019年～2022年)

2015年～2017年にはラグビーU17・U18日本代表監督を務め、2022年より東芝プレイブルーバス東京プロデューサー就任。

聖光学院ラグビー部監督在任中、独自の理論で改革し、限られた練習環境ながら当時弱小だったチームをわずか3年で全国大会初出場に導いた。

学校長就任時、コロナ禍においては、全国一斉休校の翌日から、全国で一番最初にオンライン授業を実施するなど、学校現場においても様々な改革を行った。

## 自己紹介

星野明宏 (Hoshino Akihiro)

### 【職歴】

- 株式会社電通(1995年～2003年)
- 静岡聖光学院中学校・高等学校(2005年～2022年) 寮舎監→担任→主任→教頭→副校長→校長
- 株式会社オフィスホシノ(2021年～)
- 東芝プレイブルーパス東京 プロデューサー(2022年～)

### 【ラグビー指導歴】

- U17日本代表監督(2015年～2016年) U18日本代表監督(2017年)

### 【外部役職等】

- スポーツ庁「運動部活動の在り方に関するアドバイザリー会議」委員
- 静岡県「人づくり・学校づくり」実践委員
- 経産省「未来のブカツ」ブカツコーチ
- IU情報経営イノベーション専門職大学 客員教授

## 発想の転換

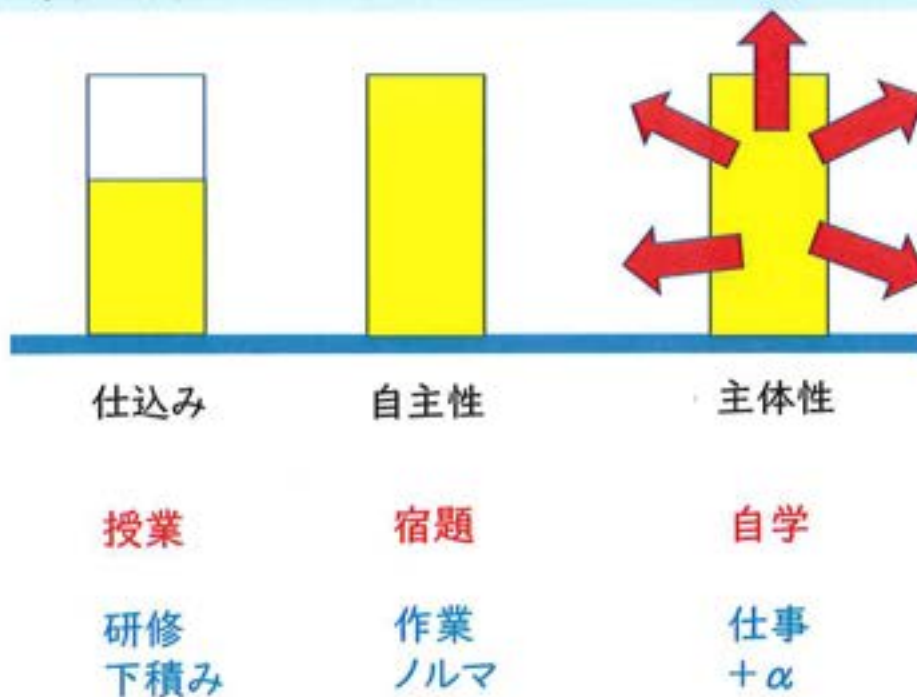
全国大会(花園)に2009年の初出場以来、7回出場(ここ5大会は連続で初戦突破)

- ① 火曜日・木曜日 90分(2月～10月) 60分(11月～1月) 土曜日 120分程度
- ② 使用できるグラウンドのスペースは1/4程度
- ③ 赴任当初の部員は12名
- ④ 私学におけるイメージレベルのアドバンテージ等は、一切無し

## 時短部活

- ① 校舎を出たらアップ開始！
- ② 集合は「ダッシュ」で！
- ③ 水入れは「ミーティング」タイム！
- ④ 何となくの60分より意思統一の50分！
- ⑤ 「並んで待つ」メニュー禁止！
- ⑥ 3つのメニューを1つのメニューに！

## 主体性マネジメント



**制約**があるからこそその**創造**！

**予測不能な未来**を生きていく子供たちのために  
**大人がチャレンジ**しましょう！





## 稲垣 和希 氏

---

- ▶筑波大学 体育スポーツ局 研究員  
(スポーツ・リサーチ・イノベーター)
- ▶つくば市部活動改革統括コーディネーター

筑波大学大学院博士課程、クイーンズランド大学（オーストラリア）客員研究員を経て、学校スポーツ改革に取り組む筑波大学において体育スポーツ局研究員「スポーツ・リサーチ・イノベーター」に就任。

健康スポーツ心理学を専門とし、スポーツとウェルビーイングやチームビルディングの研究・実践とともに、部活動改革に関する情報発信・コンサルティングを実施。

# CONTENT

## 全国の子どもたちが求める 文化・スポーツ活動とは？

— イマチャレ1万人アンケートの結果から —

筑波大学体育スポーツ局 研究員  
つくば市部活動改革統括コーディネーター

稲垣 和希

## ■ アンケートの目的

### 部活動改革が抱える課題

#### ■ 改革の拠り所となる「エビデンス」の不足

何を根拠に改革を進めていけば良いか？ 正解がわからない

#### ■ 経験論・感情論での議論

「部活には教育効果がある・・・」⇒ 続かない対話のラリー

#### ■ 多くの関係者の理解・協力が不可欠

行政・学校・保護者・生徒・地域による危機感及びビジョンを共有しながら進めていく必要がある

**子ども（保護者・教員）の声を改革推進の支えにするためのアンケート**



## アンケートの概要

- 期間：2023年7月～9月
- 対象：中学1～3年生
- 全国データ数：12,814名  
大津町、加賀市、北谷町、黒潮町、  
静岡市、須賀川市、名護市、姫路市、  
宮崎市、真岡市、読谷村（五十音順）  
沖縄県立中学校含む

※ 各自治体で調査を実施し、匿名化したデータを取得

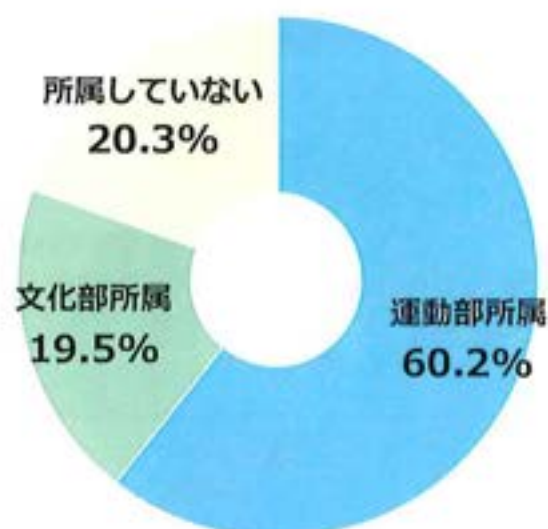
### ■ 質問内容例

- 部活動改革の認知度
- 部活動・習いごとの頻度&時間数
- 部活動に期待していること
- 活動に対する主体性
- どのような地域活動を求めているか
- 部活動に入らなかった理由と改善点 等

## アンケートの概要

- 期間：2023年7月～9月
- 対象：中学1～3年生
- 全国データ数：12,814名  
大津町、加賀市、北谷町、黒潮町、  
静岡市、須賀川市、名護市、姫路市、  
宮崎市、真岡市、読谷村（五十音順）  
沖縄県立中学校含む

※ 各自治体で調査を実施し、匿名化したデータを取得



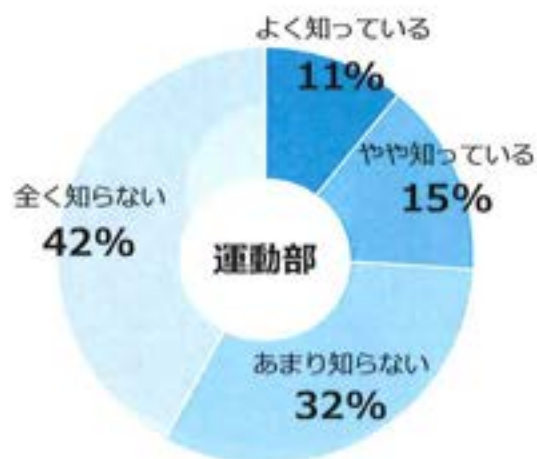
## イマチャレ1万人アンケート結果の概要

### テーマ1

## 生徒の「部活動改革」への理解

### ■ テーマ1：生徒の部活改革への理解

- Q：スポーツ庁・文化庁では、休日（土日、祝日）の部活動の地域移行を令和7年度末までに推進しています。そのことについて知っていますか？



部活動改革が推進されていることを知っている生徒は少ない

## イマチャレ1万人アンケート結果の概要

### テーマ2 生徒の「生活実態」

## テーマ2：生徒の生活実態

### ■ 部活動の日数・活動時間の平均

	運動部		文化部	
	平日	休日	平日	休日
日数	<b>4.0日 /週</b> (5日 18%)	<b>1.1日 /週</b> (2日 10%)	<b>3.4日 /週</b> (5日 13%)	<b>0.5日 /週</b> (2日 3%)
時間	<b>2h08min /回</b> (2h以上 34%)	<b>2h38min /回</b> (3h以上 62%)	<b>1h57min /回</b> (2h以上 25%)	<b>1h27min /回</b> (3h以上 39%)
総時間数	<b>515 h /年</b>		<b>335 h /年</b>	

※ ( ) 内はガイドライン基準を超えている割合 総時間数は年45週として計算 (総授業時間数は850h)

## テーマ2：生徒の生活実態

### ■ 学校以外の習い事（学習塾・地域クラブ等）の日数・時間、及び睡眠時間

	習い事	
	平日	休日
日数	2.5日 / 週	0.7日 / 週
時間	1h 50min / 回	1h21min / 回
総時間数	250 h / 年	

※ 年45週で計算（総授業時間数は855h）



推奨：8h30min

「うつ・不安」リスクが最も低い (SLEEP; Ojio et al., 2016)

## 現在の部活動の特徴と課題



	日本	英国	米国
設置学校	ほぼ全ての学校	ほぼ全ての学校	ほぼ全ての学校
部活数	多数	多数	少数 (トライアウト制)
生徒の加入率	約50~70%	約50%	約30~50%
活動状況	活発	不活発	活発 (シーズン制)
指導者	教師 (未經験者含)	教師	教師とコーチ
指導目的	人間形成	競技力向上	競技力向上
活動の特徴	一般生徒の教育活動	一般生徒のレクリエーション	少数エリートの競技活動

仲澤 (2014). 運動部活動の戦後と現在. 青弓社, p50の表を基に作成

## 現在の部活動の特徴と課題



設置学校	ほぼ全ての学校
部活数	多数
生徒の加入率	約50～70%
活動状況	活発
指導者	教師 <small>(未経験者多)</small>
指導目的	人間形成
活動の特徴	一般生徒の 教育活動

### 部活動の活動時間数…

A市 平成30年 平均：**655時間** /年 (授業：850時間 /年)

**1000時間** を超える部活動あり (出典：部活動等の状況調査)

- ❖ 一部のスポーツ成功者を生む一方で、**心身の不調、スポーツ嫌い、勉学への軽視** などを生む
- ❖ 一年中休みなく同じ種目を行っており、自分の興味関心に沿って **多様な経験をする機会が喪失**
- ❖ 文化スポーツ活動の場が「**学校**」に限定しており **生涯スポーツ・生涯活動に繋がらない**

## テーマ2：生徒の生活実態

### ■ 結果のまとめ

「運動部+学外の習い事」で平均765h/年の活動をしている (総授業時間：850h/年)

睡眠時間が6時間以下の生徒が約30%いる (推奨睡眠時間：8h30min)

### ■ 提言

心身の健全な発育発達のためにも、**活動時間数の見直し** が必須

⇒「**多様な経験をする時間**」を生徒に返す という発想が重要

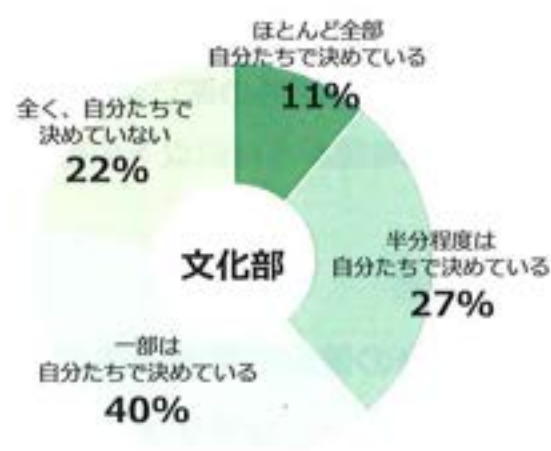
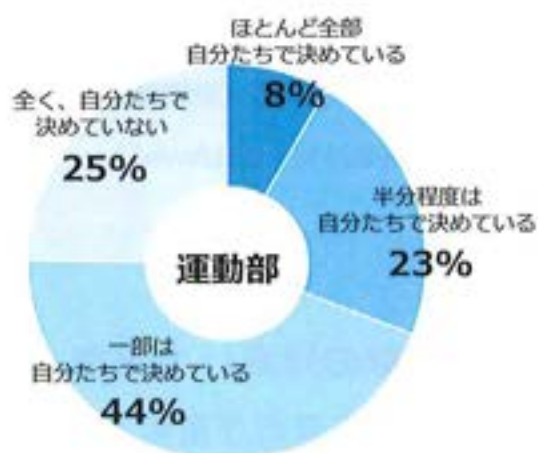
## イマチャレ1万人アンケート結果の概要

### テーマ3

## 現在の部活動における主体性

### ■ テーマ3：現在の部活動における主体性

- Q：現在、練習の時間や内容、試合のメンバーなど、自分たち（生徒同士）で決めていることはありますか？

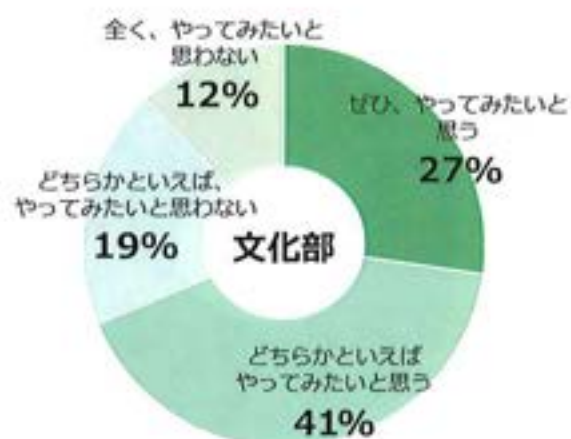
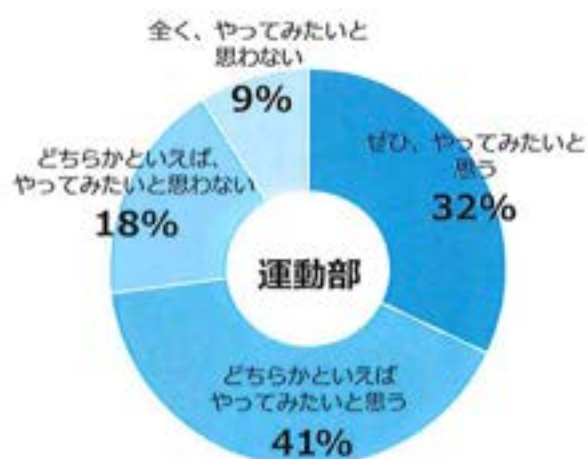


約25%の生徒は活動の内容について全く自分たちで決めていない



## ■ テーマ3：現在の部活動における主体性

■ Q：生徒が主体となって企画や運営する試合などをやってみたいですか？



約70%の生徒は、生徒が主体となって企画・運営する活動をやってみたい

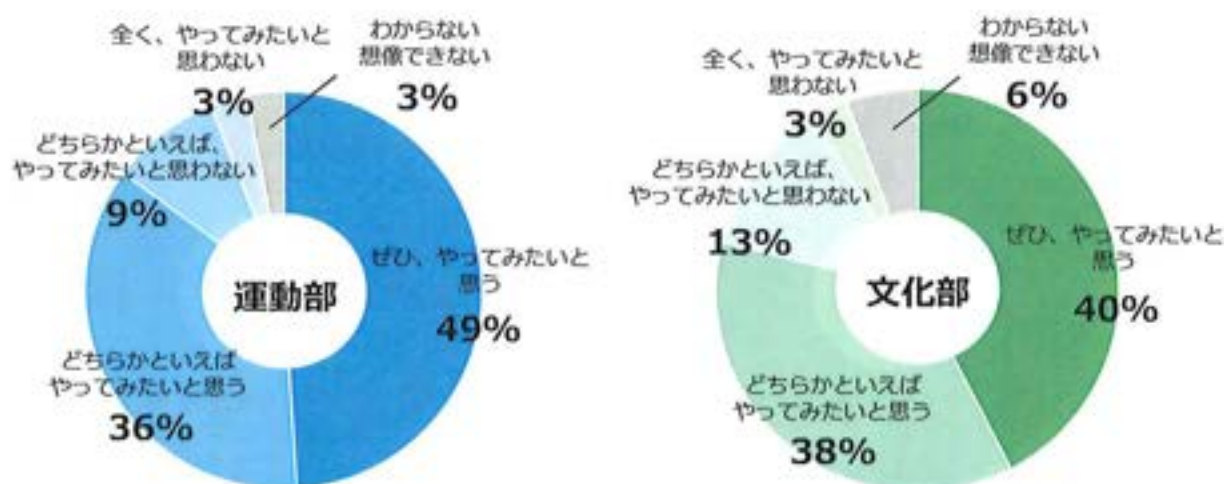
## イマチャレ1万人アンケート結果の概要

### テーマ4

## より良い地域活動に向けて

## テーマ4：より良い地域活動に向けて

■ Q：同じ地域で、別の学校の生徒と文化スポーツ活動を一緒にしたいと思いますか？

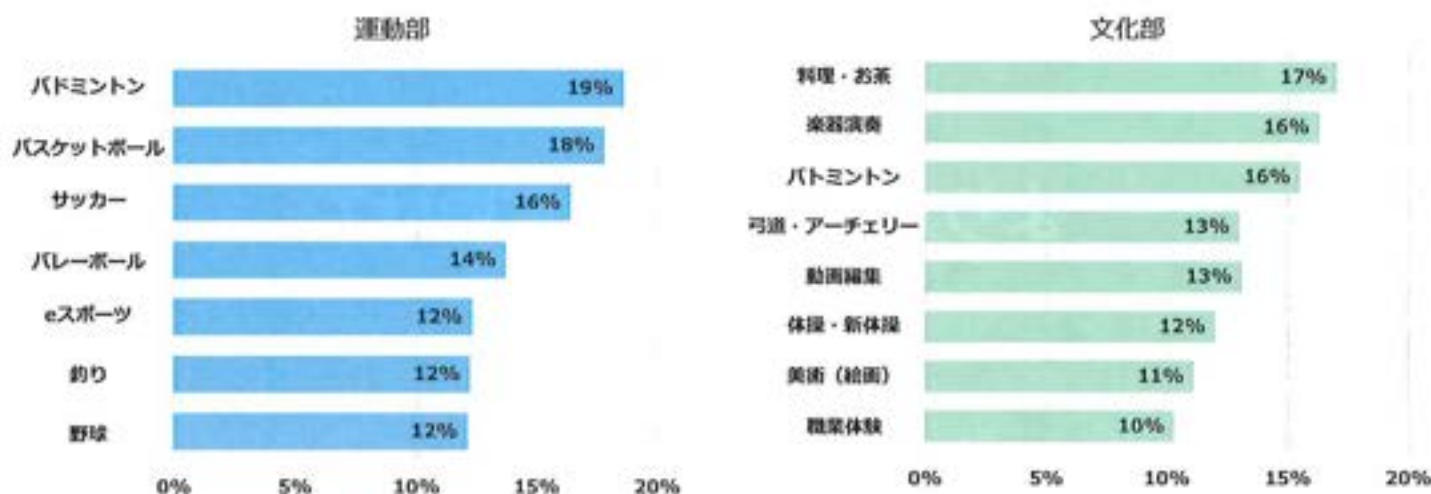


約80%の生徒は、地域で別の学校の生徒と一緒に活動してみたい

## テーマ4：より良い地域活動に向けて

■ Q：今行っている部活動以外に、地域でどんな活動をしてみたいですか？

「活動したい生徒」のうち、10%以上の生徒がやりたいと回答した活動



「部活動以外」の活動をしてみたい生徒も多い

## まとめと提言

### 結果のまとめ

- 生徒の「部活動改革への認知」はまだまだ低い（25%程）
- 多くの時間を部活動+習い事に費やしている ⇒ ゆとり、多様な経験のなさ
- 生徒はより主体的（自ら決断する）、多様な経験を求めている
- 地域での活動に前向き ⇒ 「多様な活動」をやってみたい

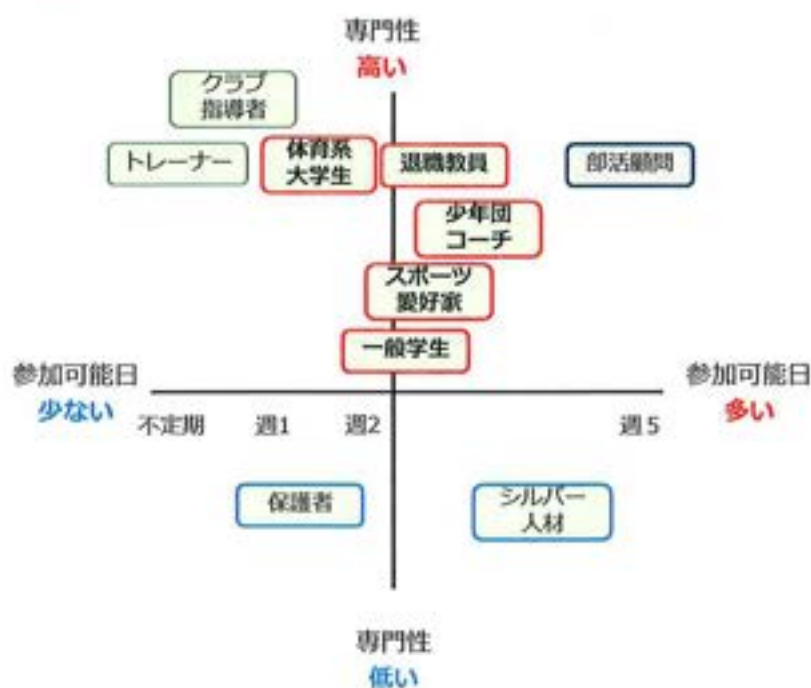
### 提言

改革には生徒、保護者、教員含め多様な関係者の理解&協力が必要

**アンケートを実施し、生の声を根拠に推進していくことが重要**

## 指導者の確保のポイント

<参考>



### ■ 参加ハードルを下げる

- 週1回、期間限定（3ヶ月）
- 指導するだけで良い体制
- 見守りだけの依頼 等

### ■ 指導者側のメリットの創出

- 謝金
- 教育活動の一環
- ファン・顧客への発展
- 学校施設利用の優遇
- 社会的な報酬（生きがい、繋がり）等

MEMO

B&G FOUNDATION



## 代田 昭久 氏 【ファシリテーター】

---

- ▶一般社団法人未来地図 代表理事
- ▶長野県飯田市 前教育長
- ▶学校スポーツ課題解決プラットフォーム「イマ.チャレ」  
実行委員（スポーツ庁・経産省後援）

民間企業を経て、2008年に東京都杉並区立和田中学校校長、2013年佐賀県武雄市教育監、2014年より武雄市立武内小学校校長・教育監を歴任。  
2016年～2022年長野県飯田市教育長就任。

教育長在任時には、すべての生徒たちの声を聴く改革で、「放課後部活動のオフ期間」を導入。革新的な取り組みを全国で先駆けて実施。

## 自己紹介

一般社団法人・未来地図 代表 代田昭久



◆1996年1998年 ライスボウル優勝



◆2013年 佐賀県武雄市教育監  
武雄市立武内小学校校長



◆2008年 杉並区立和田中学校校長



◆2016年 長野県飯田市教育長



▶ どうして部活動の地域移行が進まないのか？

▶ 部活動改革が

進んでいく自治体、進まない自治体

の違いは何か？

課題設定（問いの立て方）

の違いではないか？





部活動改革が**進まない**自治体



「部活動の地域移行」が**目的化**

スポーツ庁・文化庁/県教委の指示待ち



部活動改革が**進んでいる**自治体



**課題設定**

**子ども中心**

子どもにとって部活動の課題は何か？  
どんな文化・スポーツ環境であるべきか？

## 長野県飯田市のこれまでの取り組み

平成  
30年度

### 部活動の実態調査

- ▶ 飯田市平均 665 時間 (中学の総授業時間数 約 850 時間)
- ▶ 全国より 低い運動部活動の加入率 (飯田市約58.5%/全国約65%)

令和  
元年度

### 部活動オフ期間 (1ヶ月) & 全市型スポーツスクール の立ち上げ

- ▶ 令和2年1月 1ヶ月間の施行 (8種目12スクール 約600名の参加)

令和  
2年度

### 部活動オフ期間 (3ヶ月) & 全市型スポーツスクール の実施

- ▶ 「部活動の延長としての社会体育」の廃止 (13種目15スクール 約1400名の参加)
- ▶ 令和2年11月～1月 3ヶ月間の放課後部活動オフ期間の開始

令和  
3年度

### ジブン・チャレンジ期間 (3ヶ月) & 全市型スポーツスクール の実施

(体験型/競技力向上スクール)

令和  
4年度

### ジブン・チャレンジ期間 (3ヶ月) & 全市型スポーツスクール の実施

- ▶ これまでの取り組みの継続 → 土日の地域移行への準備

令和  
5年度

### ジブン・チャレンジ期間 (3ヶ月) & エンジョイスクエア (2ヶ月)

& 全市型スポーツスクール の実施

## 長野県飯田市のこれまでの取り組み

### 子ども中心

▶ すべて生徒の声を聞く 令和元年度からの部活動の悉皆調査

- ・練習時間が長い
- ・体調が優れない

#### ▶ 時間の適正化 (健全な学校生活)

- ・活動665時間→400時間程度に
- ・放課後部活動をオフ期間に(冬季3ヶ月)

- ・顧問が全部決めてしまう
- ・自分で決める機会がない

#### ▶ 主体性の育成 (内発的な活動)

- ・オフ期間→「ジブン・チャレンジ期間」に
- ・筑波大学と連携しスポーツ心理学を導入

- ・部活動以外に挑戦したい
- ・地域の活動に参加したい

#### ▶ 選択肢の創出 (「好き」との出会い)

- ・「全市型スポーツスクール」の開催
- ・休日の「エンジョイスクエア」のスタート



## 長野県飯田市のこれまでの取り組み

▶ 令和2年度から11月～1月 3ヶ月間の放課後部活動オフ期間の開始

ジブン・チャレンジ（ジブチャレ）期間に関するアンケート

Q 「放課後の部活動を行わない期間」があって良かったと思いますか？

飯田市全中学校1,2年生 へのアンケート結果



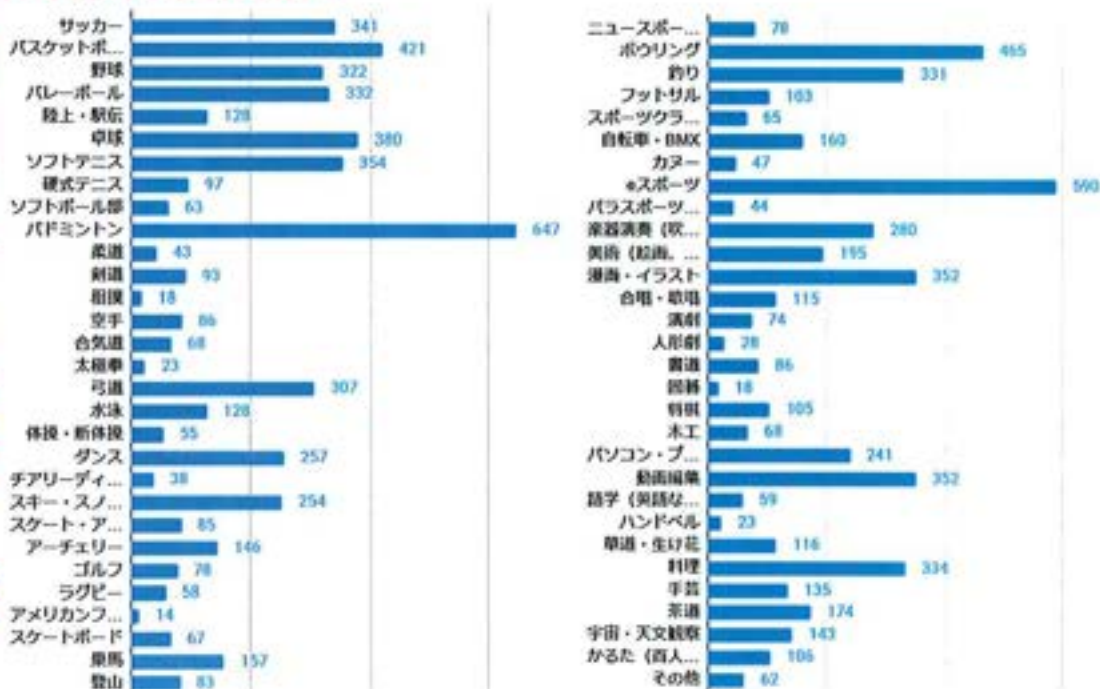
飯田市全中学校の1,2年生

## 長野県飯田下伊那のこれからの取り組み

Q: 11月・12月の休日に何をしたい？



【アンケート対象】  
飯田下伊那14市町村  
中学生 約4,200名  
解答率 58%



## 長野県飯田下伊那のこれからの取り組み

まちのクラブ「エンジョイスクエア」46種目を11・12月に実施  
子どもたちの「やりたい」を14市町村が連携して応援する

高校との連携が可能

飯田下伊那 文化芸術・スポーツ エンジョイスクエア 種目一覧

分類	番号	種目	団体・クラブ名	主催団体・協力団体	開催回数	番号	種目	団体・クラブ名	主催団体・協力団体	開催回数
スポーツ系	1	サッカー	エンジョイ・サッカークラブ	飯田サッカー協会	3	24	クライミング	クライミング・クラブ	下村村協会の	1
	2	バスケット	Enjoy Basketball	飯田同クラブ	2	25	アウトドア	アウトドアーズ伊那自然研会	本郷地区	1
	3	野球	ユニバーサルベースボール	飯田同クラブ	2	26	乗馬	汎用クラブ	本郷地区	1
	4	バレーボール(女子)	エンジョイ Volley ball	飯田同クラブ	2	27	ビリヤード	BCI 飯田ビルヤードクラブ	BCI 飯田ビルヤードクラブ	4
	5	卓球	アトミック卓球クラブ	飯田卓球連盟	2	28	ダーツ	スポーツダーツプロジェクト	伊那ダーツクラブ	3
	6	硬式テニス	楽しい硬式テニス	飯田同クラブ	4	29	アート・美術	飯田芸術会(はつひい)	飯田芸術会/本郷地区	3
	7	ソフトボール	Drive Dream/ プレイブドリームズ	飯田ソフトボールクラブ	3	30	剣道	飯田剣道クラブ	本郷地区	3
	8	パドミントン	楽しいパドミントン	飯田同クラブ	4	31	イラスト・書道	イラスト・書道・書写具イラスト講座	本郷地区	1
	9	空手	技創アクション空手クラブ	日本空手協会飯田支部	4	32	音楽	楽しい音楽クラブ	本郷地区	2
	10	ラッパ	ユニバーサルラッパ	飯田同クラブ	6	33	茶道	高田分館茶室	飯田	1
	11	弓道	弓道部	飯田弓道スポーツ協会弓道部	5	34	演劇	演劇・狂言研究会	飯田同クラブ	1
	12	アーチェリー	アーチェリー部	飯田弓道スポーツ協会アーチェリー部	1	35	プログラミング	わくわくプログラミング	伊那ビルエス 伊那	4
13	ダンス	S3Dダンス	S3D文化会	4	36	プログラミング	プログラミング・クラブ	飯田ビルエス 伊那	4	
14	ヨガ	ほぐれて楽しくヨガレッスン	長野県ヨガ協会飯田支部	4	37	読書(英語)	ポリティクスクラブ	本郷地区	2	
15	フットサル	net フットサルクラブ	飯田サッカー協会/本郷地区	1	38	料理	わくわくキッチンクラブ	本郷地区	2	
16	登山	飯田の山を歩こう	本郷地区	2	39	習字・英文	下宿クラブ・フレンズカフェ	本郷地区	2	
17	ボウリング	ジュニアボウリングスクール	アストロボウル	4	40	剣道	飯田剣道クラブ	本郷地区/市街地側イデアウェブ	3	
18	ボウリング	ジュニアボウリングクラブ	飯田同クラブ/アストロ	8	41	習字	かつり学生部	本郷地区	2	
19	ニュースポーツ	「スゴい」ニュースポーツ	飯田スポーツ協会/飯田同クラブ	4	42	剣道	飯田同クラブ	飯田にいなビル	3	
20	ベタンク	飯田ベタンククラブ	飯田ベタンククラブ連合会	3	43	ドローン	ドローン部	飯田同クラブ 伊那	1	
21	釣り	はなふさINJOY釣り倶楽部	はなふさ釣り部	1	44	3Dモデリング	3Dモデリング	飯田同クラブ 伊那	1	
22	ダンス	Don't Think Feels!!	Don't Think Feels!! 本郷地区	2	45	絵と書道	スポーツ同クラブ/スポーツ部	まよろ文化	1	
23	SUP・カヌー	SUP・カヌークラブ	伊那同クラブ	1	46	工芸(クラフト)	はなふさINJOYクラブ/伊那	はなふさ文化	4	

## 長野県飯田下伊那のこれからの取り組み

▶「部活動改革はまちづくり」/地域資源の活用

B&G海洋センター(阿南町・下條村)の活用 ▶



### 3. B&G財団事業説明





# B&G財団事業説明

2023年11月8日

第20回B&G全国教育長会議

公益財団法人B&G財団

## B&G海洋センターの多様な活用を

部活動

学校  
授業

スポーツ  
利用

防災  
拠点

子育て  
支援

子供の  
居場所

多世代  
交流

地域  
活動

B&G Foundation

# 海洋センター修繕助成

## 修繕内容

### ①通常修繕

財団が整備した施設や設備で、海洋センターの機能保全・復旧や機能向上を図るための修繕



照明LED化（水銀灯）



上屋シート取替・鉄骨塗装



トイレ洋式化



玄関スロープの設置

### ②災害復旧修繕

財団が整備した施設や設備で、自然災害（地震・台風・積雪など）により被害を受けた場合の原状復帰の修繕

### ③特別施設整備（艇庫特別措置、プール特別措置、10年連続・15年連続特A評価優遇措置）

原則、通常修繕では行えない海洋センター各施設の移設・建替・増設・用途変更などの大規模修繕



艇庫建替（徳島県阿南市）



上屋付きプール用途変更（福岡県大任町）



B&G Foundation

# 海洋センター修繕助成

## 助成率・助成限度額

### (1) 助成率

#### ①通常修繕

評価	基準助成率	助成率の加算	助成率上限
特A	60%以内	① 多機能化、LED化 5% ② 自治体の姿勢 5%	70%以内
A	50%以内		60%以内

#### ②災害復旧修繕・特別施設整備

施設	評価	基準助成率	助成率の加算	助成率上限
災害復旧修繕	特A～D評価	70%以内	-	70%以内
特別施設整備 艇庫特別措置	特A～D評価	50%以内	-	50%以内
プール特別措置	特A	80%以内	-	80%以内
10年・15年連続 特A評価優遇措置	特A	80%以内	-	80%以内

### (2) 助成限度額

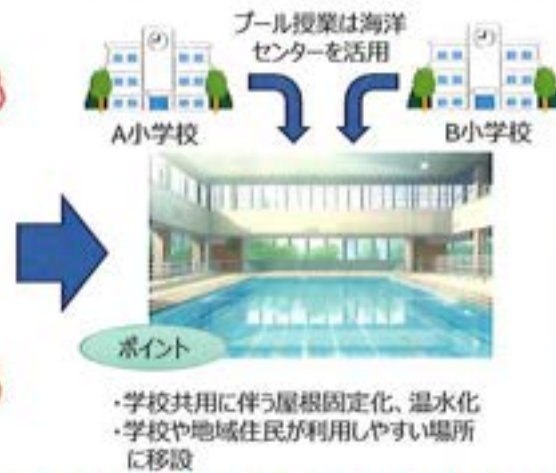
修繕の種類	助成限度額			
	艇庫	プール	体育館	
通常修繕	1,000万円	3,000万円	3,000万円	
特別施設整備	特別施設整備	1,000万円	3,000万円	3,000万円
	艇庫特別措置	5,000万円	-	-
	プール特別措置	-	1億円	-
	10年連続特A 評価優遇措置	-	3,000万円	-
	15年連続特A 評価優遇措置	-	5,000万円	-
災害復旧修繕	1,000万円	3,000万円	3,000万円	

B&G Foundation

# 海洋センター修繕助成

B&G財団では、地域のニーズにあわせた修繕助成制度を設けております

## ○プール特別措置



助成概要	
評価	特A評価
助成限度額	1億円 (助成率80%以内)
申請要件	①学校授業で活用すること ②屋内温水化、屋根固定化すること ③通年または半年以上開館すること

**ポイント**  
 ・学校共用に伴う屋根固定化、温水化  
 ・学校や地域住民が利用しやすい場所に移設

学校プールの統廃合が進む中、同制度を活用して施設の集約化を図ることができます

B&G Foundation

# 北海道大樹町海洋センター

温水化・屋根固定化したプールを新設。学校授業をはじめ、地域住民が通年で活用できる施設へと生まれ変わりました！！

After



Before



修繕工事概要	
工事内容	屋根固定化した屋内温水プールへの移設・建替え
工事総額	512,350,000円
助成金額	100,000,000円
修繕種別	プール特別措置 (上限100,000,000円)

B&G Foundation

# 北海道大樹町海洋センター

## 主な改修施設①

プール (改修前)



プール (改修後)



上屋付きプールを屋根固定化、温水化し、通年での利用が可能に

B&G Foundation

# 北海道大樹町海洋センター

## 主な改修施設②

採暖室



ロビー



更衣室



プール以外の施設も一新し、利用者が快適に活用できる施設へ

B&G Foundation

# 成果

利用者数の増加 ※9月末時点の利用人数で比較



改修後の様子



町内小中学校の学校授業での利用のほか、水泳少年団や中高年向け水泳教室などに活用されている



B&G Foundation

## 大分県中津市耶馬溪海洋センター

トレーニング室や武道場を改修し、宿泊機能を付加した施設に！！  
小学生の宿泊体験学習や大学生等の合宿にも活用される新たな海洋センターに生まれ変わりました！

After



Before



### 修繕工事概要

工事内容	武道場・ホール空調設置工事、可動間仕切り設置、照明LED化、調理室・食堂設置工事 等
工事総額	54,192,000円
助成金額	29,900,000円
修繕種別	特別施設整備 (上限30,000,000円)

B&G Foundation



# 大分県中津市耶馬溪海洋センター

## 主な改修施設①

ミーティングルーム（改修前）



食堂（改修後）



トレーニング室を改修し、施設利用者が食事を取るための食堂を新たに整備

B&G Foundation

# 大分県中津市耶馬溪海洋センター

## 主な改修施設②

2階体育館（改修前）



2階体育館（改修後）



可動式間仕切りや冷暖房を設置し、利用者が宿泊できる環境に整備

B&G Foundation

# 成果

利用者数の増加 ※9月末時点の利用人数で比較



## 【主な利用者】

- ・耶馬溪町内小学校の通学合宿
- ・福岡大学大学生
- ・中津市内外の家族連れ 等

## 改修後の様子



親子での宿泊体験や町内小学校の合宿など、これまではなかった新たな利用に繋がっている



B&G Foundation

# 海洋センタープールにおける熱中症対策事業

建設当時（1970～）

現在（2023）



熱中症対策における特別支援として、海洋センタープールの周辺に救護環境が無い施設に対して救護室を設置する新規事業を2023年度よりスタート

B&G Foundation

## 海洋センタープールにおける熱中症対策事業

### 配備内容：

冷暖房を備えたパネルハウス型の救護室、救護ベッド・ベンチ、大型扇風機 等 ※写真はイメージ



2023年度は、全国の海洋センター上屋付きプール30カ所に配備が完了

### 【設置海洋センターの感想】 ※一部抜粋

見学者や引率の保護者の方に大変喜ばれた。特に乳幼児を連れてきている方には好評であった。

プール監視員の休憩場所としても利用し、安心安全な労働環境を提供できた。

救護室があることで、安心してプールで泳ぐことができた。

大会の際に来賓控室としても活用でき、様々な用途があると感じた。

B&G Foundation

## 海洋センタープールにおける熱中症対策事業

### 2023年度 設置海洋センター 30カ所一覧

NO.	道府県名	海洋センター名	NO.	道府県名	海洋センター名
1	福島県	瑞町B&G海洋センター	16	三重県	伊勢市御園B&G海洋センター
2	福島県	田村市滝根B&G海洋センター	17	三重県	志摩市志摩B&G海洋センター
3	福島県	小野町B&G海洋センター	18	兵庫県	養父市おおやB&G海洋センター
4	埼玉県	久喜市栗橋B&G海洋センター	19	岡山県	美作市作東B&G海洋センター
5	埼玉県	松伏町B&G海洋センター	20	岡山県	奈義町B&G海洋センター
6	千葉県	成田市大栄B&G海洋センター	21	岡山県	赤磐市吉井B&G海洋センター
7	茨城県	五霞町B&G海洋センター	22	山口県	萩市むつみB&G海洋センター
8	茨城県	石岡市B & G 海洋センター	23	香川県	高松市国分寺B&G海洋センター
9	栃木県	さくら市喜連川B&G海洋センター	24	福岡県	みやこ町豊津B&G海洋センター
10	長野県	阿南町B&G海洋センター	25	長崎県	南島原市加津佐B&G海洋センター
11	長野県	上松町B&G海洋センター	26	長崎県	時津町B&G海洋センター
12	長野県	生坂村B&G海洋センター	27	大分県	中津市耶馬溪B&G海洋センター
13	岐阜県	可児市B&G海洋センター	28	熊本県	津奈木町B&G海洋センター
14	静岡県	牧之原市相良B&G海洋センター	29	鹿児島県	さつま町B&G海洋センター
15	静岡県	磐田市竜洋B&G海洋センター	30	鹿児島県	奄美市笠利B&G海洋センター

B&G Foundation

# 海洋センタープールにおける熱中症対策事業

2024年度募集 (予定)

申請対象：上屋付きプールを保有する海洋センター  
但し、海洋センター評価が特A以上であること

設置数： 全国30ヶ所 ※審査有り

配備内容：冷暖房を備えた救護室、救護ベッド・ベンチ、大型扇風機等

- ①屋内設置：パネルハウス型
- ②屋外設置：ユニットハウス型or個別発注

救護室の  
大きさ： ①の場合：横幅4500cm×奥行2200cm×高さ2400cm  
②の場合：横幅3990cm×奥行2230cm×高さ2694cm  
※広さはいずれも10m未満

自治体の  
費用負担：エアコン・照明を備えた救護室への電気引込み工事費用  
および運用における電気代  
※基礎工事が必要な場合、基礎工事費 等

★申請時期・募集要項については、改めてご案内いたします。



(設置例：大分県中津市)

## 活用推奨例

現在、学校プールを閉鎖し、学校授業・部活動にてBGプールを活用する自治体が年々増加



- ①救護室があることで、より安心安全に活動することが可能！
- ②学校授業が始まる6月はプールの水が冷たいので、採暖室としても救護室が活用でき、快適に活動することが可能！

B&G Foundation

# 海洋センタープールにおける熱中症対策事業

2023年度 活用状況



配備式の様子 (奈良町B&G海洋センター)



救護室内を見学する子どもたちの様子  
(志摩市志摩B&G海洋センター)

B&G Foundation

## 海洋センターで多様なスポーツ活動の提供を 全国280箇所の海洋クラブとの連携を



B&G Foundation

THANK YOU!

## 事後アンケートご協力をお願い



本日はご参加いただきありがとうございました。  
お手持ちの携帯カメラ等で上記QRコードをお読み込みいただき、事後アンケートにご協力をお願いします。  
QRコードが読み取れない場合は、クリアファイル内に同封してありますアンケート用紙をご記入のうえ、お帰りの際にご提出をお願いします。

# 第20回 B&G全国教育長会議 提言(案)

## 一. 持続可能な スポーツ環境の整備

地域一丸となり、子供たちが将来にわたり  
多様なスポーツに親しめる環境を創ろう



**B&G**